

縮尺 1 : 5000

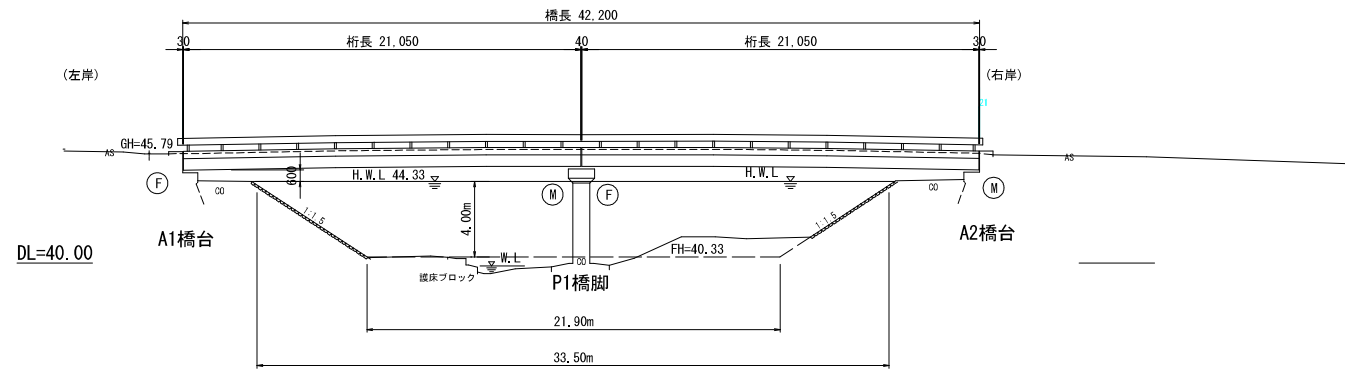
2066012030456780



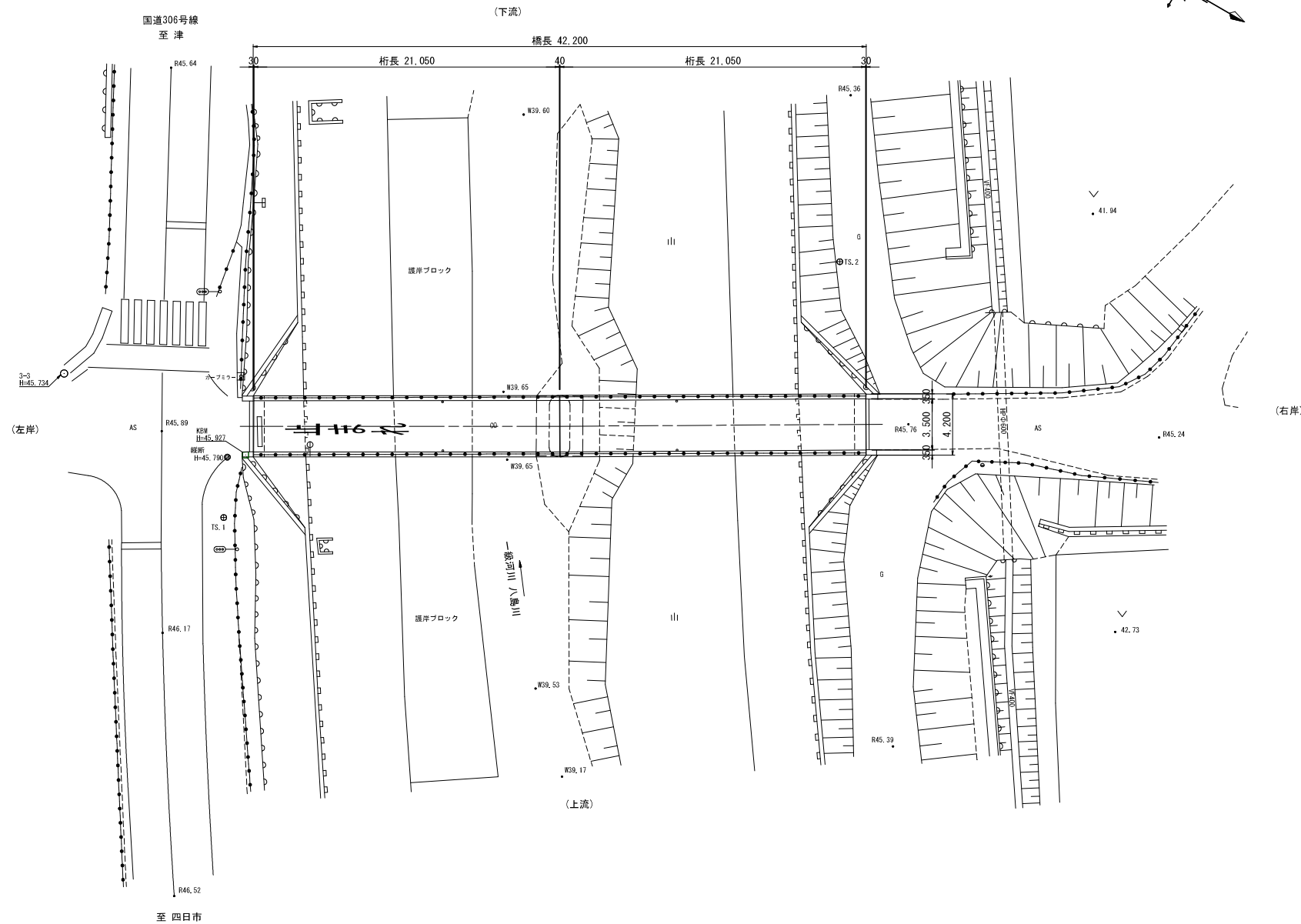
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	位置図		
尺 度	図示	図面番号	1
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 現橋一般図 (その1)

側面図 (NO.11+75.0)  
1:200



平面図  
1:200



橋梁諸元

上部工	
橋種	2径間PCポストテンT桁橋
橋長	42.20m
桁長	21.05m
支間	20.40m
幅員	4.20m(3.50m)
荷重	TL-14
斜角	90° 00' 00"
下部工	
橋台	半重力式
橋脚	小判型
基礎	直接基礎 (A2杭基礎)
架設年度	1970年 (昭和45年)

反力表

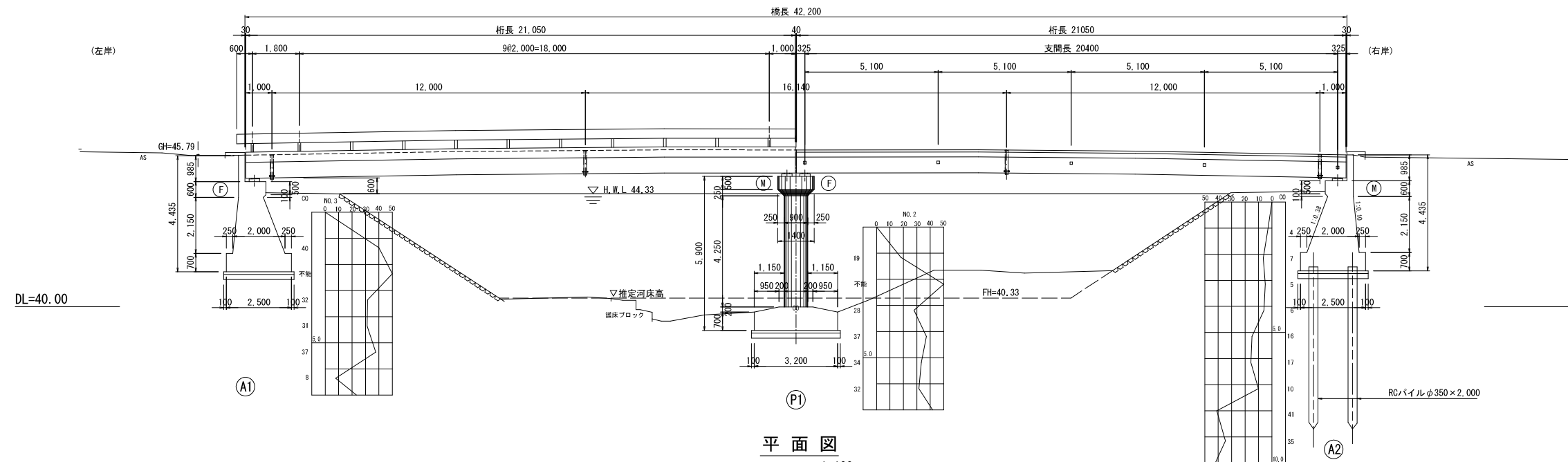
	橋台	橋脚
死荷重	50.8 <sup>(t)</sup>	101.6 <sup>(t)</sup>
活荷重	25.6	36.3
合計	76.4	137.9

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	現況一般図 (その1)		
尺度	1:200	図面番号	2
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 現橋一般図 (その2)

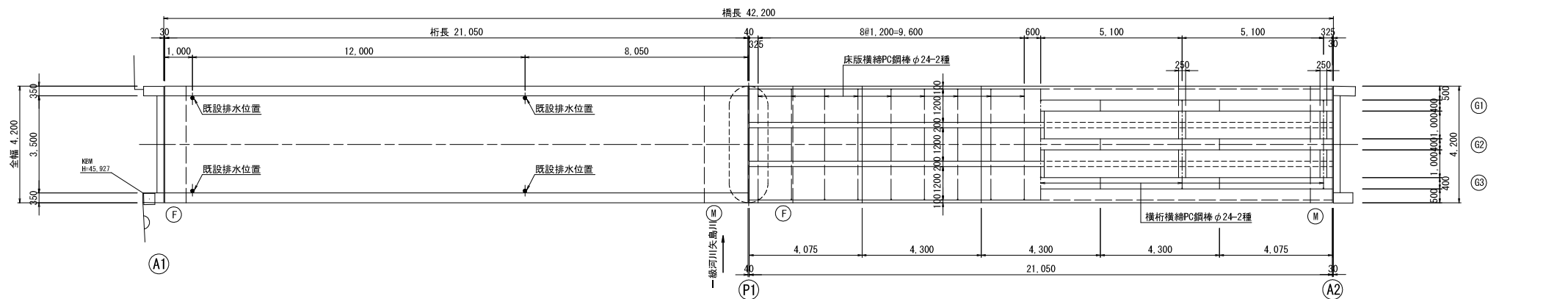
## 側面図

1:100



## 平面図

1:100



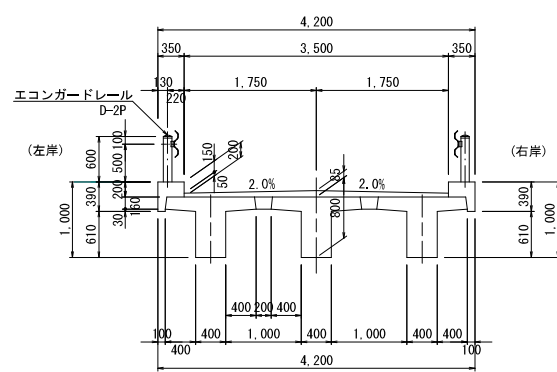
### 橋梁諸元

上部工	
橋種	2径間PCポストテン[桁橋]
橋長	42.20m
桁長	21.05m
支間	20.40m
幅員	4.20m(3.50m)
荷重	TL-14
斜角	90° 00' 00"
下部工	
橋台	半重力式
橋脚	小判型
基礎	直接基礎 (A2杭基礎)
架設年度	1970年 (昭和45年)

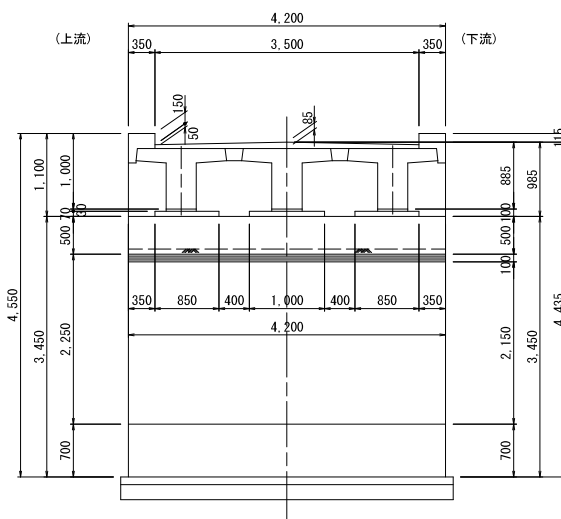
### 反力表

	橋台	橋脚
死荷重	50.8 <sup>(t)</sup>	101.6 <sup>(t)</sup>
活荷重	25.6	36.3
合計	76.4	137.9

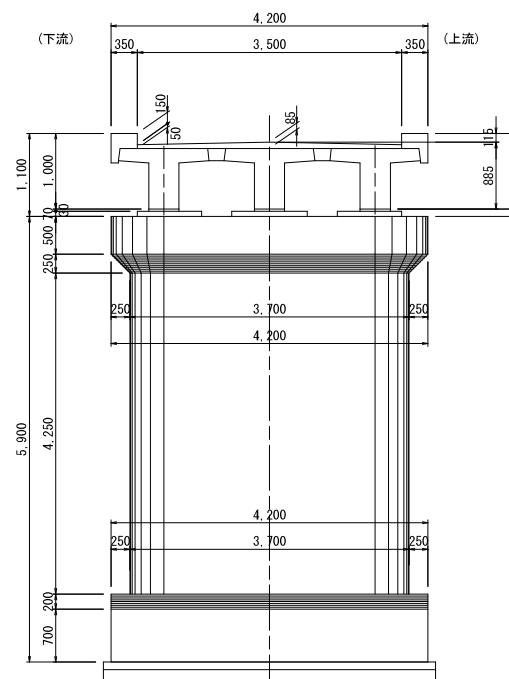
標準断面図  
1:50



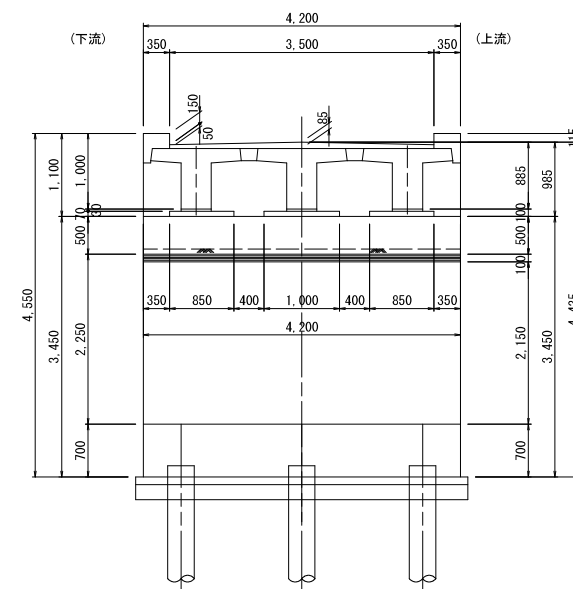
A1橋台支点部  
1:50



P1橋脚支点部  
1:50



A2橋台支点部  
1:50

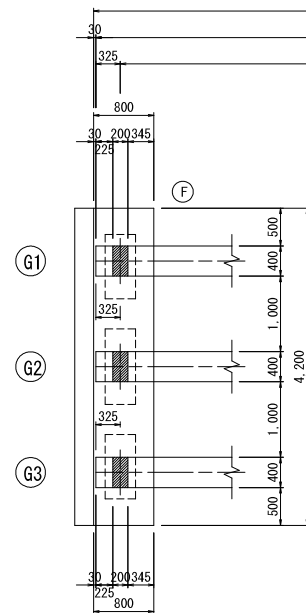


工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	現況一般図 (その2)		
尺度	図示	図面番号	3
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 現橋一般図 (その3)

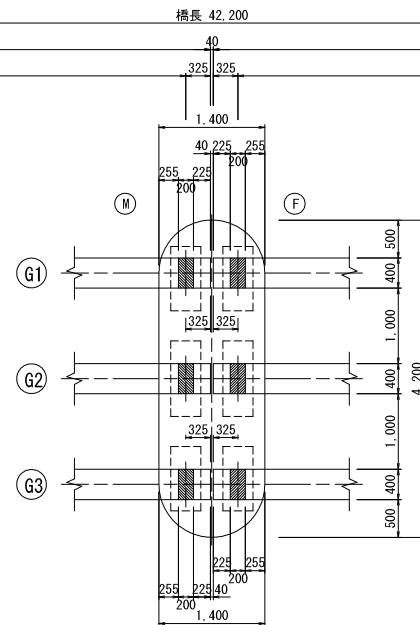
A1橋台支点部平面図

1:50



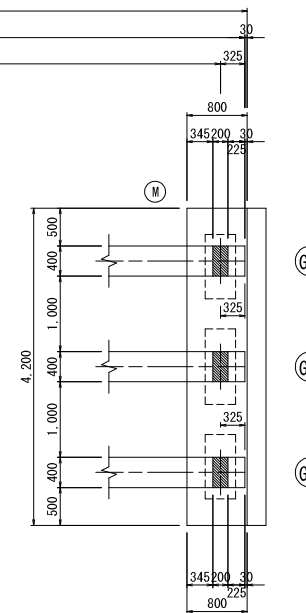
P1橋脚支点部平面図

1:50



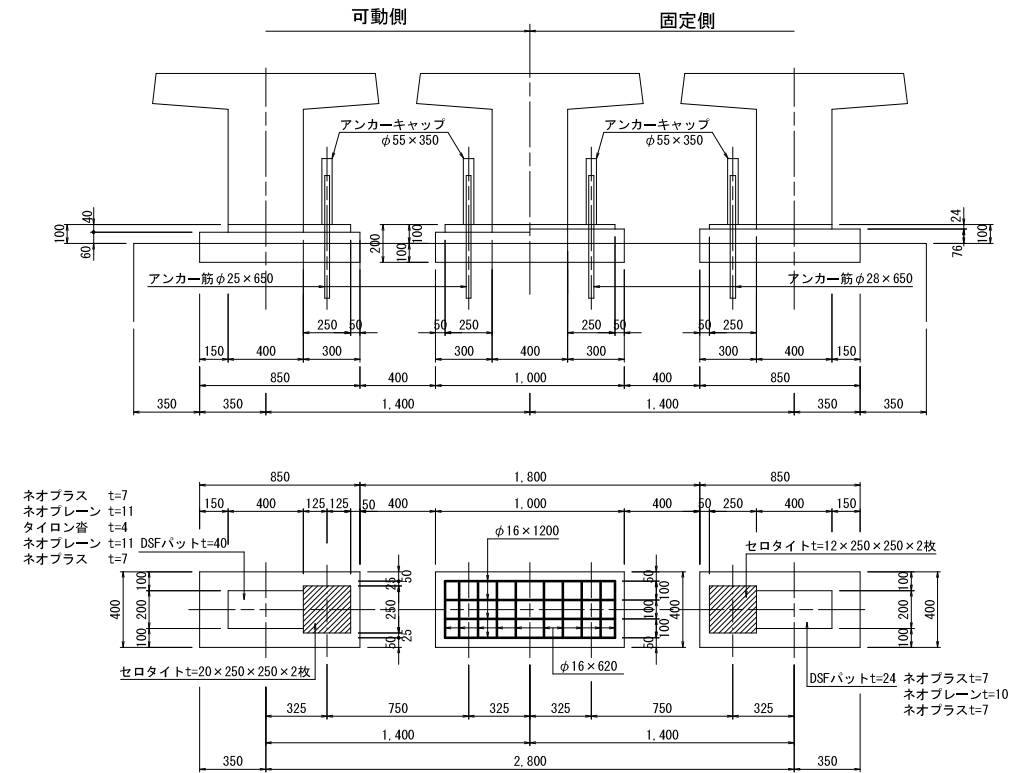
A2橋台支点部平面図

1:50



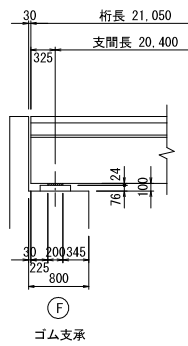
支承詳細図

S=1:20



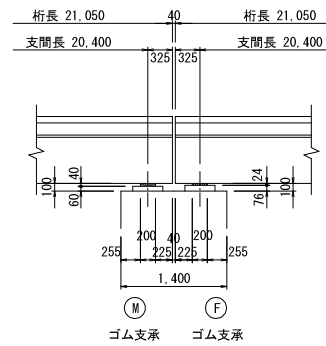
A1橋台支点部断面図

1:50



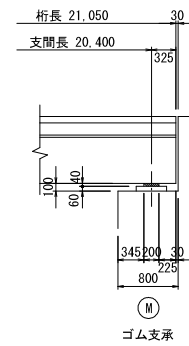
P1橋脚支点部断面図

1:50



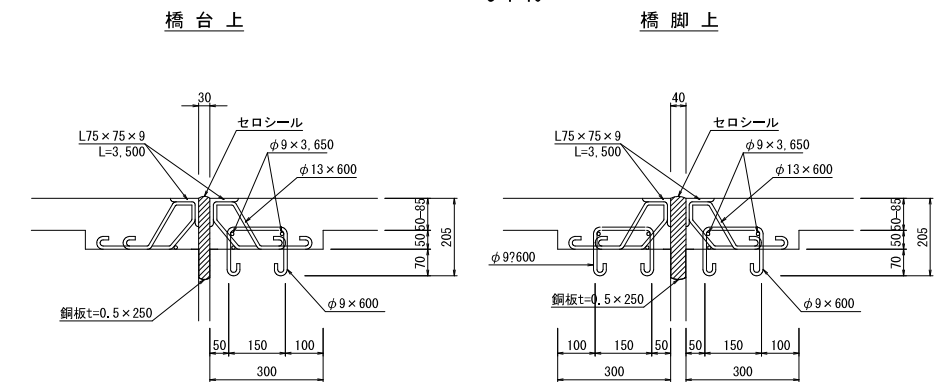
A2橋台支点部断面図

1:50



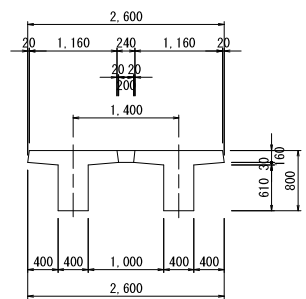
伸縮部詳細図

S=1:10



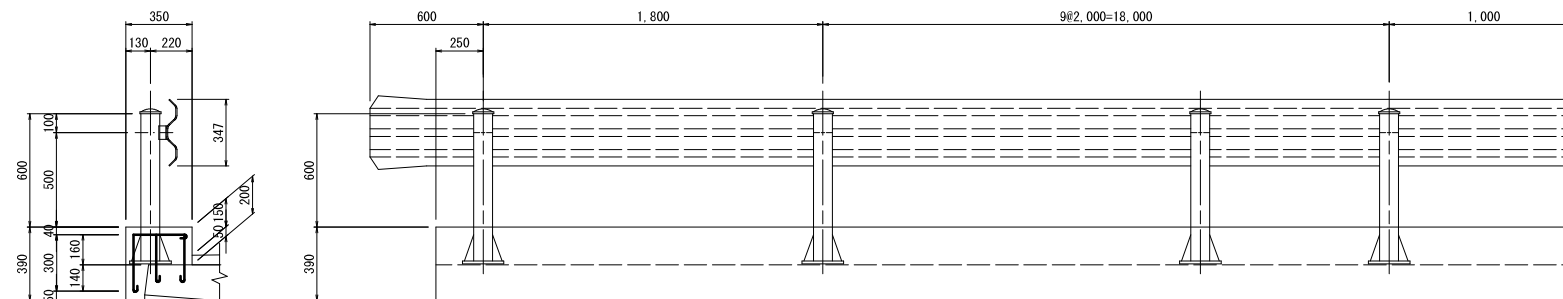
主桁断面図

1:50



高欄詳細図

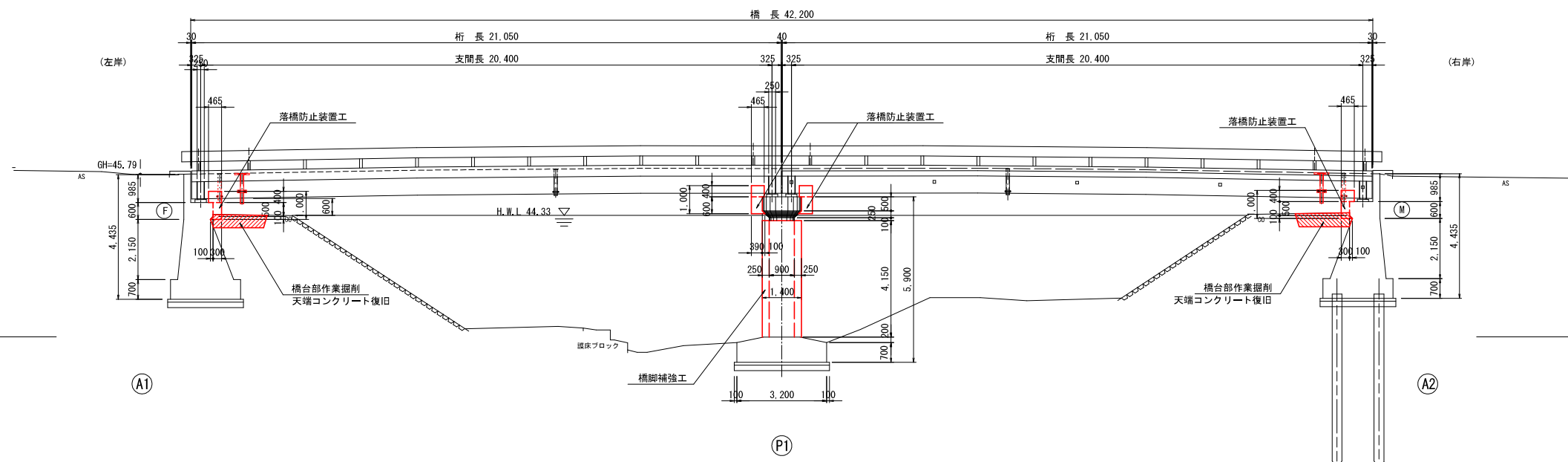
S=1:20



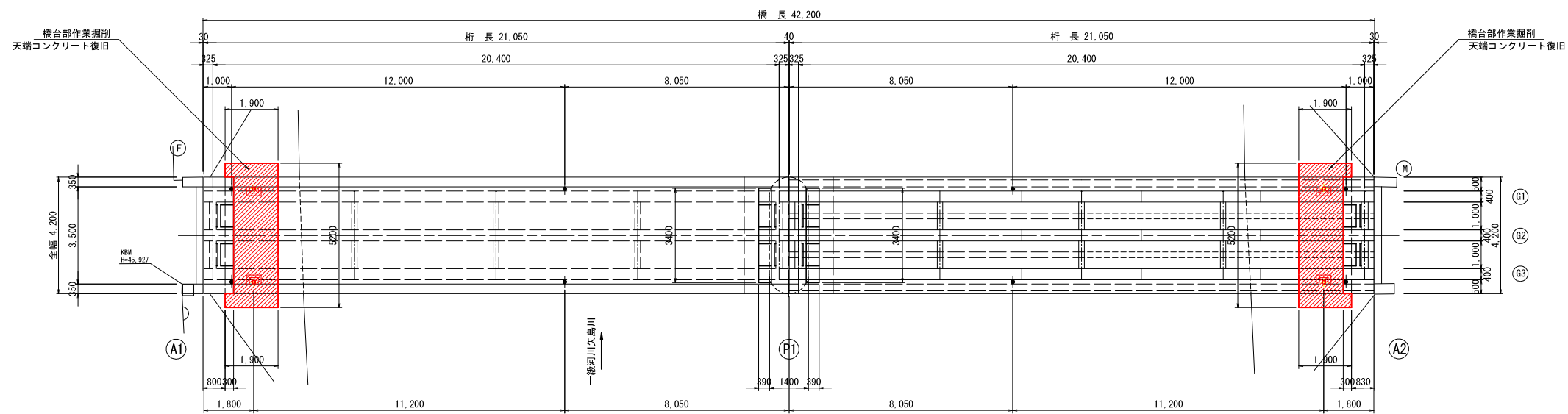
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	現況一般図 (その3)		
尺度	1:50	図面番号	4
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 耐震補強工一般図

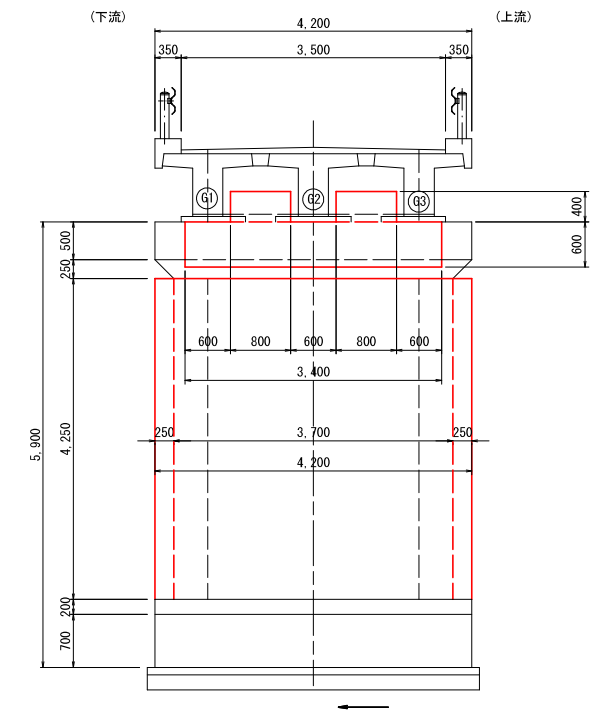
側面図 1:100



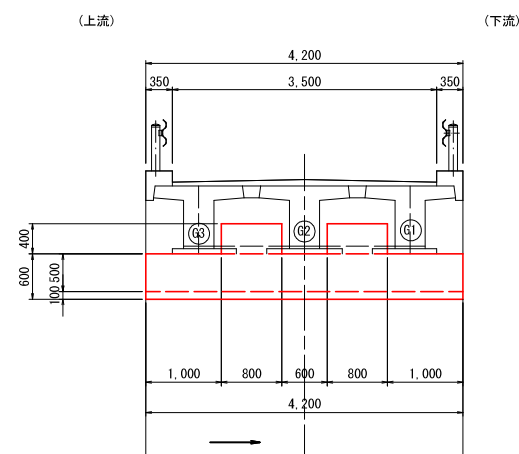
平面図 1:100



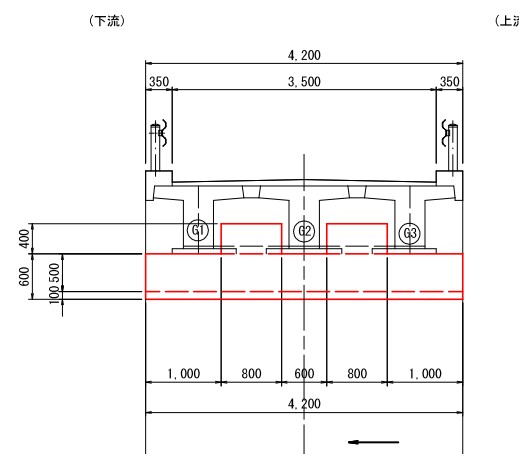
P1橋脚 1:50



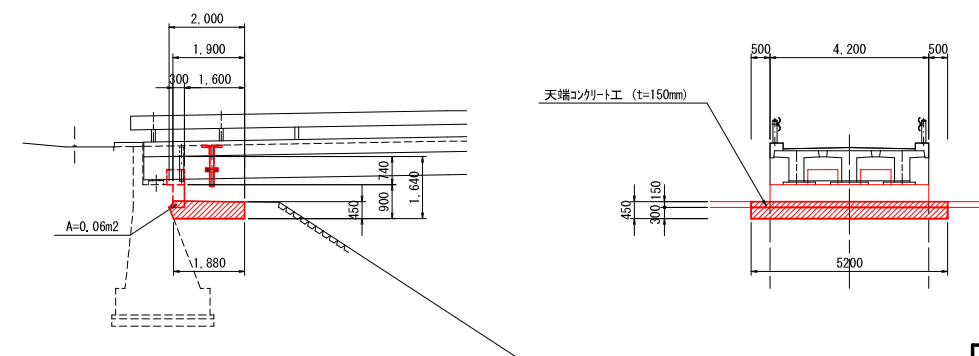
A1橋台 1:50



A2橋台 1:50



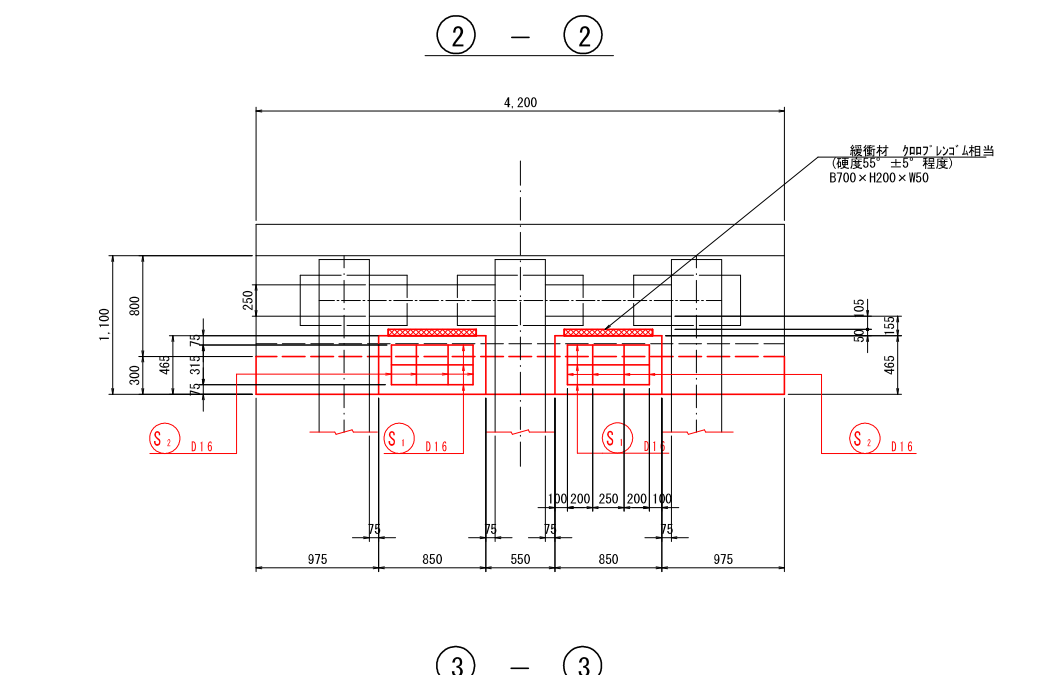
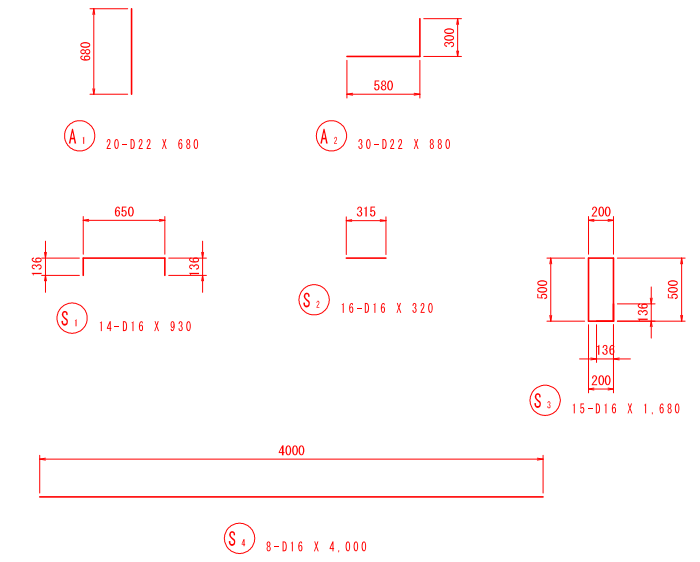
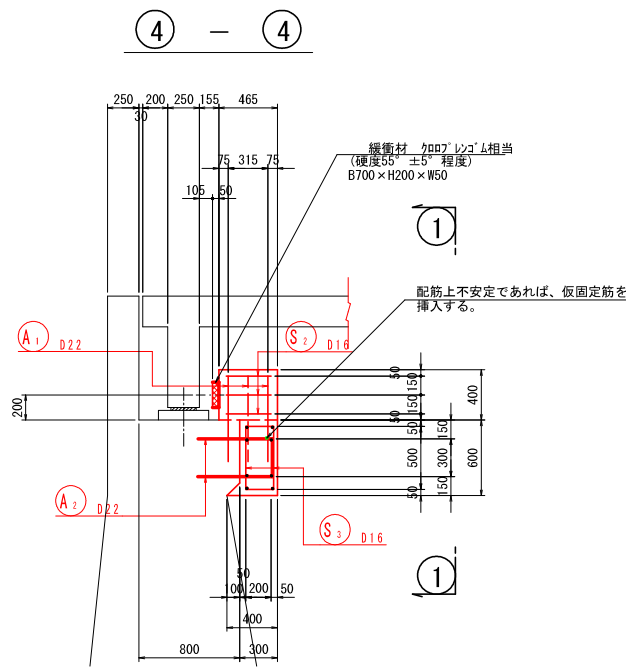
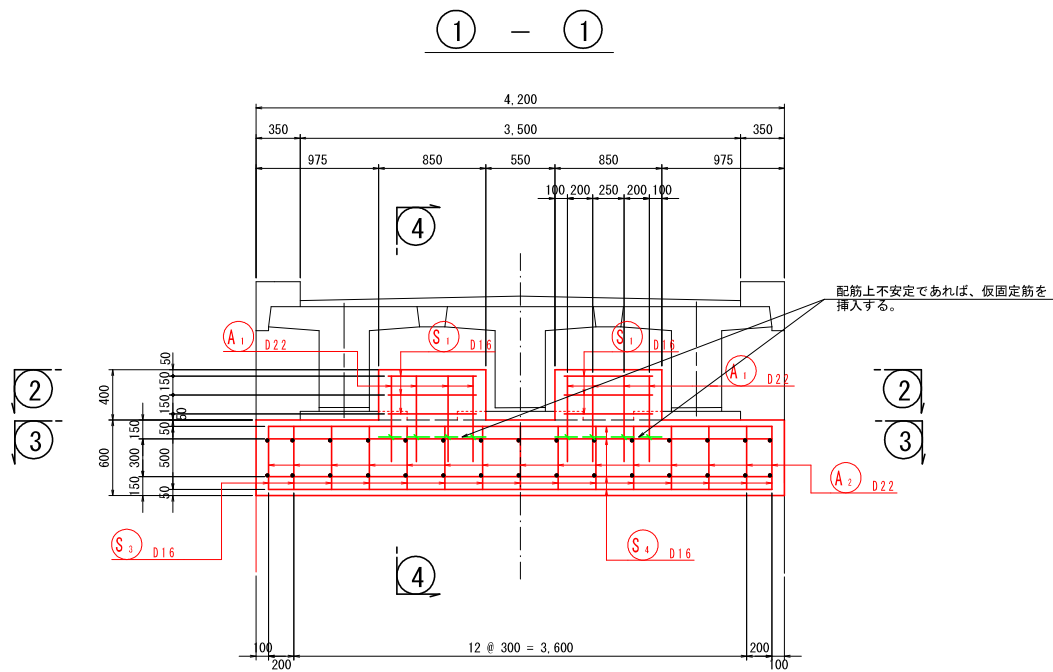
橋台部作業掘削図 1:100



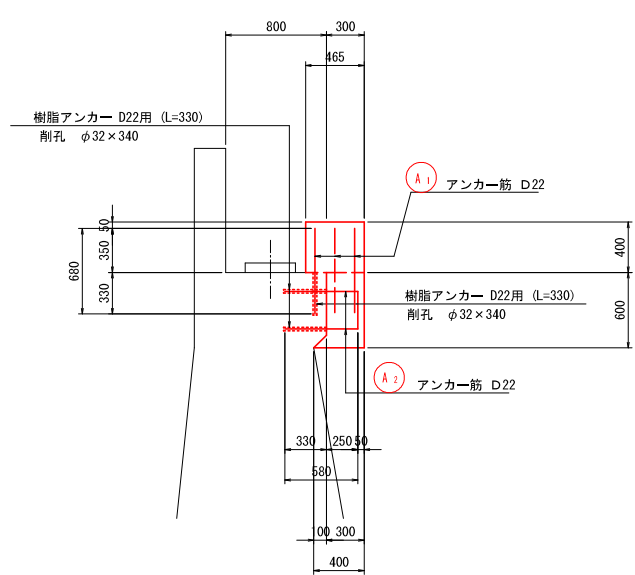
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	耐震補強工一般図		
尺度	図示	図面番号	5
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 落橋防止装置工詳細図 (橋台)

1:30



## 樹脂アンカー詳細図



## 鉄筋質量表

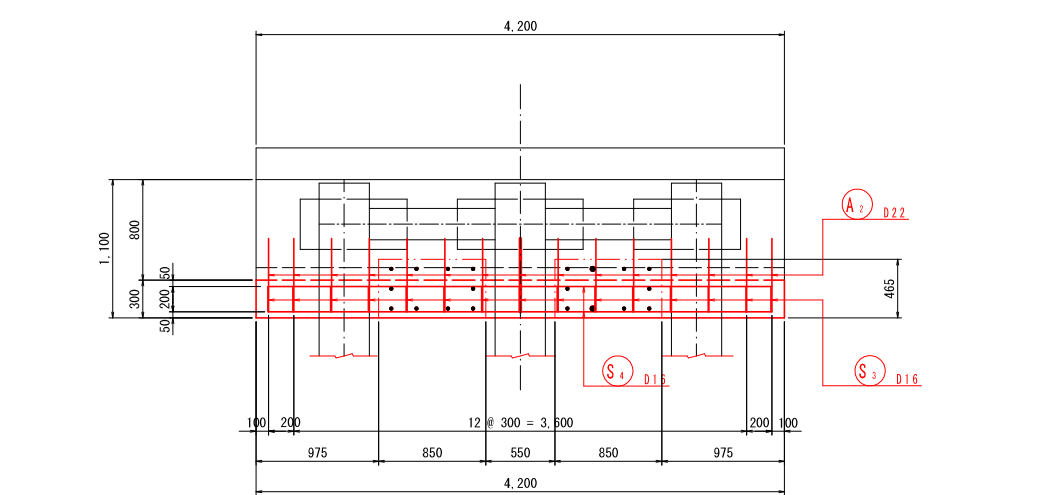
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
A <sub>1</sub>	D22	680	20	3.04	2.07	41	
A <sub>2</sub>	D22	880	30	3.04	2.68	80	┌
121							
S <sub>1</sub>	D16	930	14	1.56	1.45	20	┌
S <sub>2</sub>	D16	320	16	1.56	0.499	8	┌
S <sub>3</sub>	D16	1,680	15	1.56	2.62	39	┌
S <sub>4</sub>	D16	4,000	8	1.56	6.24	50	┌
117							
合計 D22						121 kg	
D16						117 kg	
総質量						238 kg	

## 使用材料

種別	仕様
コンクリート	24-8-25BB
鉄筋	SD345

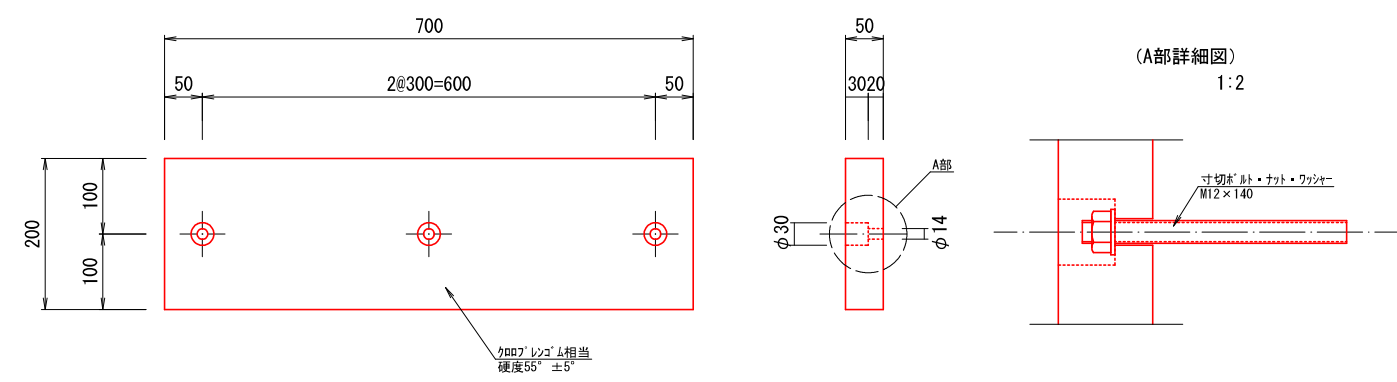
## 注記

1. 既設構造寸法・形状は工事に先立ち再計測、再確認を実施し、補修・補強寸法に反映させること。
2. アンカー孔の削孔前に、既設鉄筋位置を確認し既設鉄筋を避けて削孔すること。
3. アンカー孔の削孔位置を確認後、部材を製作すること。
4. アンカー孔の削孔位置により、安全性が低下する可能性がある場合、または構造寸法を変更する必要がある場合には、監督員と協議を行うこと。



## 緩衝材詳細図

1:5

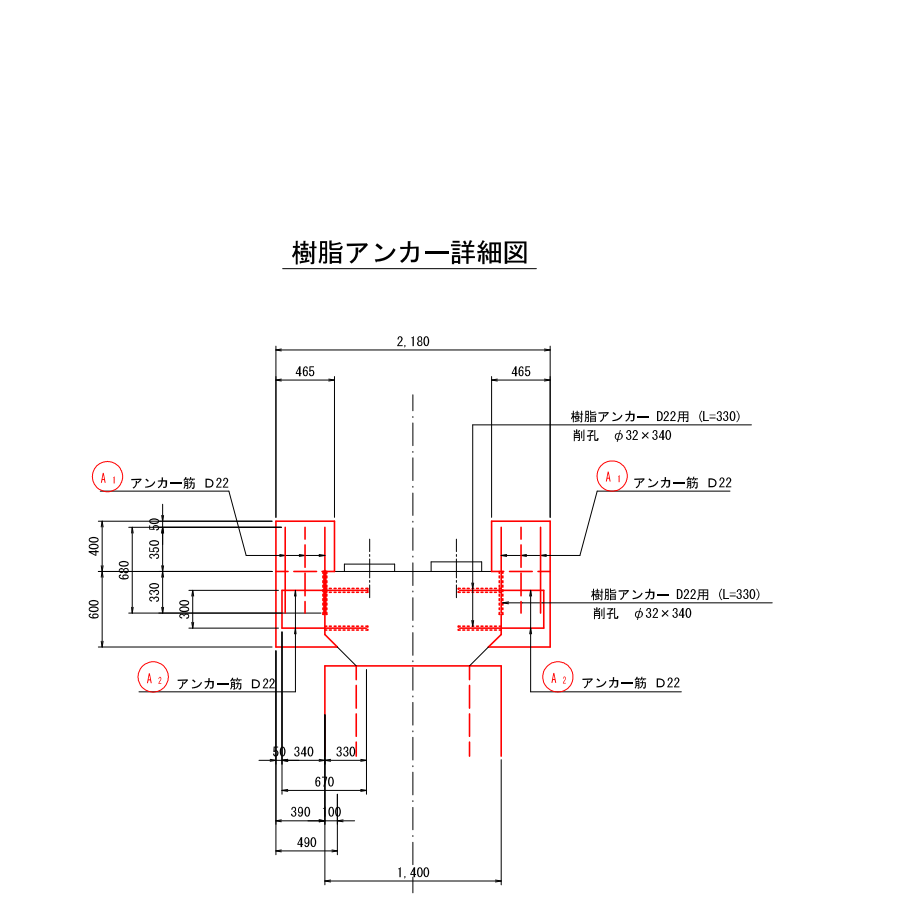
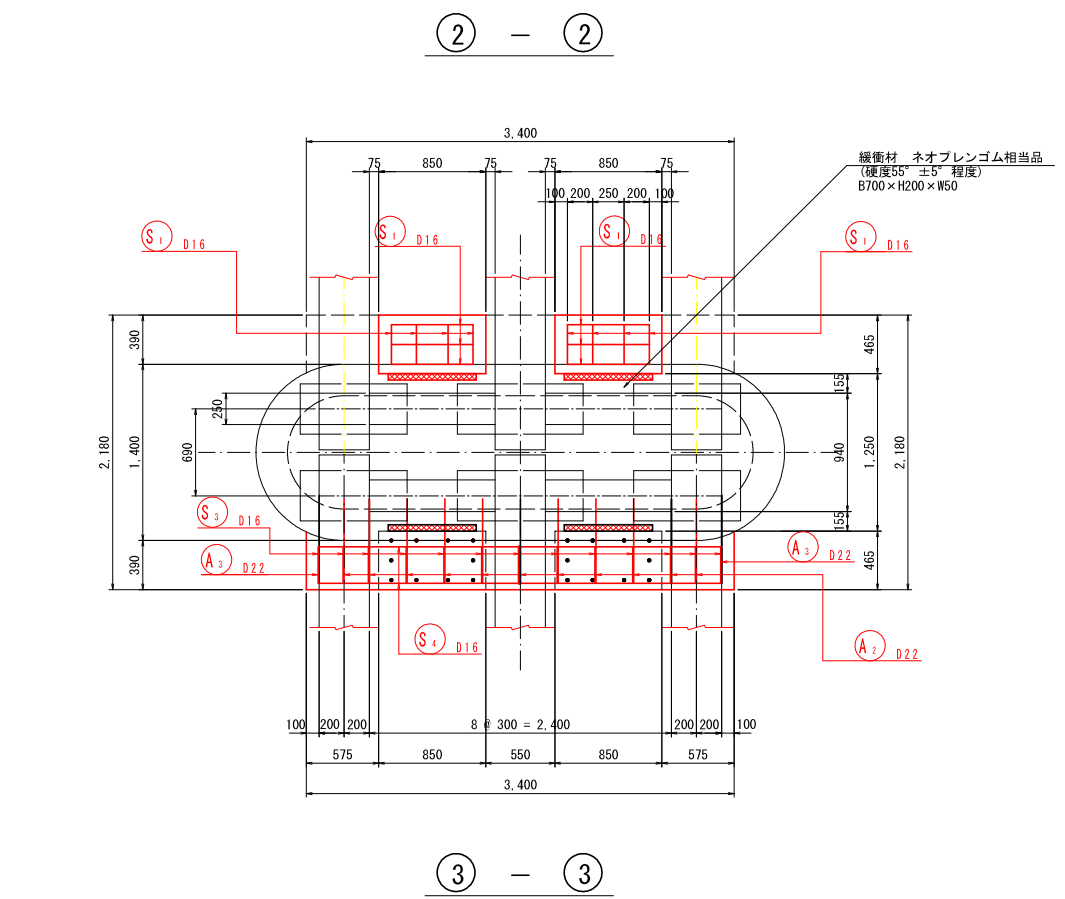
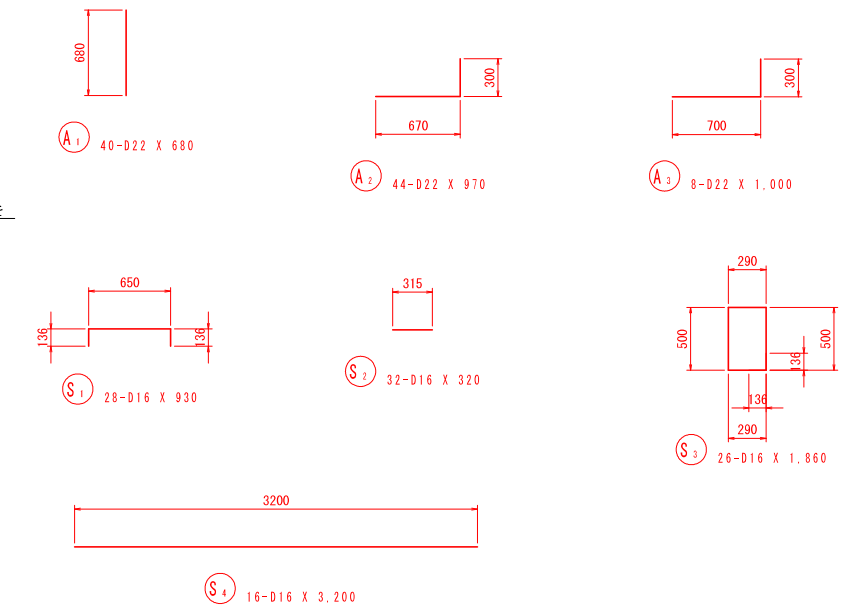
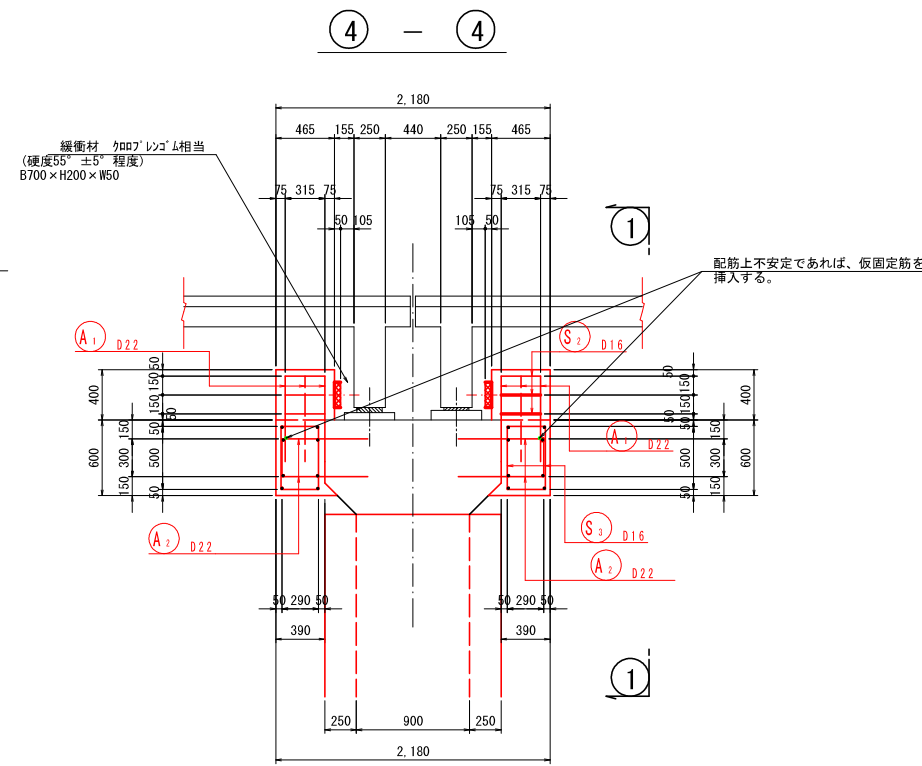
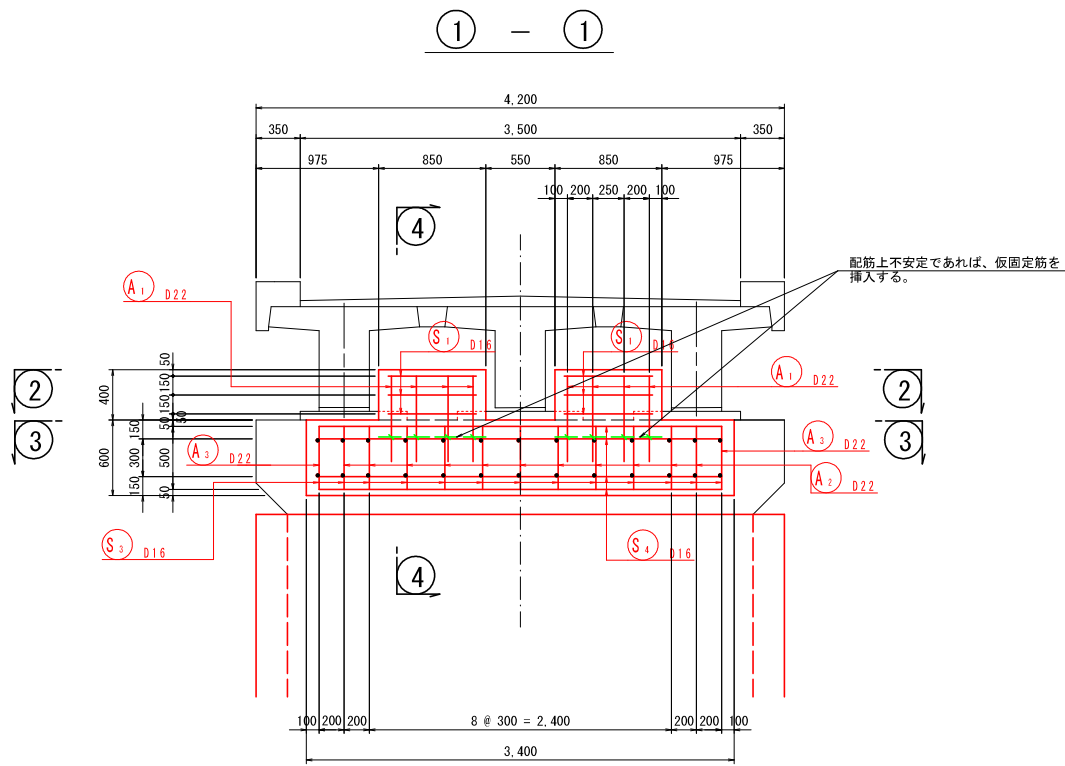


工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	落橋防止装置工詳細図 (橋台)		
尺度	図示	図面番号	6
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

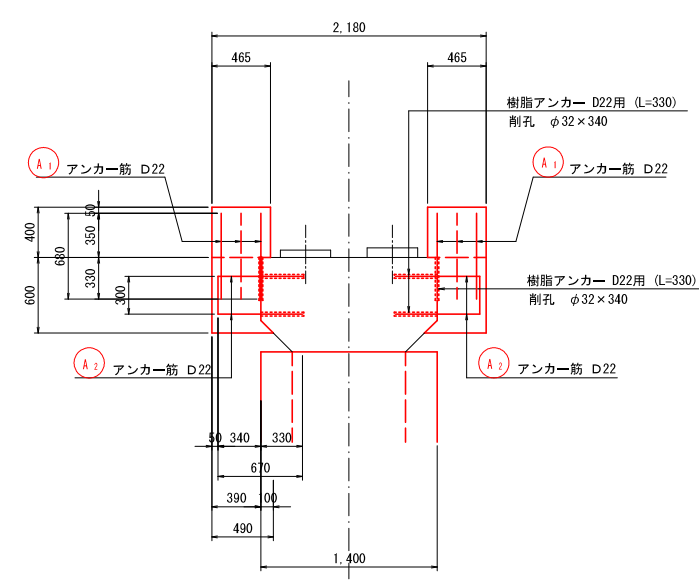


# 落橋防止装置工詳細図 (橋脚)

1:30



## 樹脂アンカー詳細図



## 鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
A <sub>1</sub>	D22	680	40	3.04	2.07	83		
A <sub>2</sub>	D22	970	44	3.04	2.95	130	┌	
A <sub>3</sub>	D22	1,000	8	3.04	3.04	24	┌	
							237	
S <sub>1</sub>	D16	930	28	1.56	1.45	41	┌	
S <sub>2</sub>	D16	320	32	1.56	0.499	16	┌	
S <sub>3</sub>	D16	1,860	26	1.56	2.90	75	┌	
S <sub>4</sub>	D16	3,200	16	1.56	4.99	80	┌	
							212	
合計 D22						237 kg		
D16						212 kg		
総質量						449 kg		

- 注 記
1. 既設構造寸法・形状は工事に先立ち再計測、再確認を実施し、補修・補強寸法に反映させること。
  2. アンカー孔の削孔前に、既設鉄筋位置を確認し既設鉄筋を避けて削孔すること。
  3. アンカー孔の削孔位置を確認後、部材を製作すること。
  4. アンカー孔の削孔位置により、安全性が低下する可能性がある場合、または構造寸法を変更する必要がある場合には、監督員と協議を行うこと。

## 使用材料

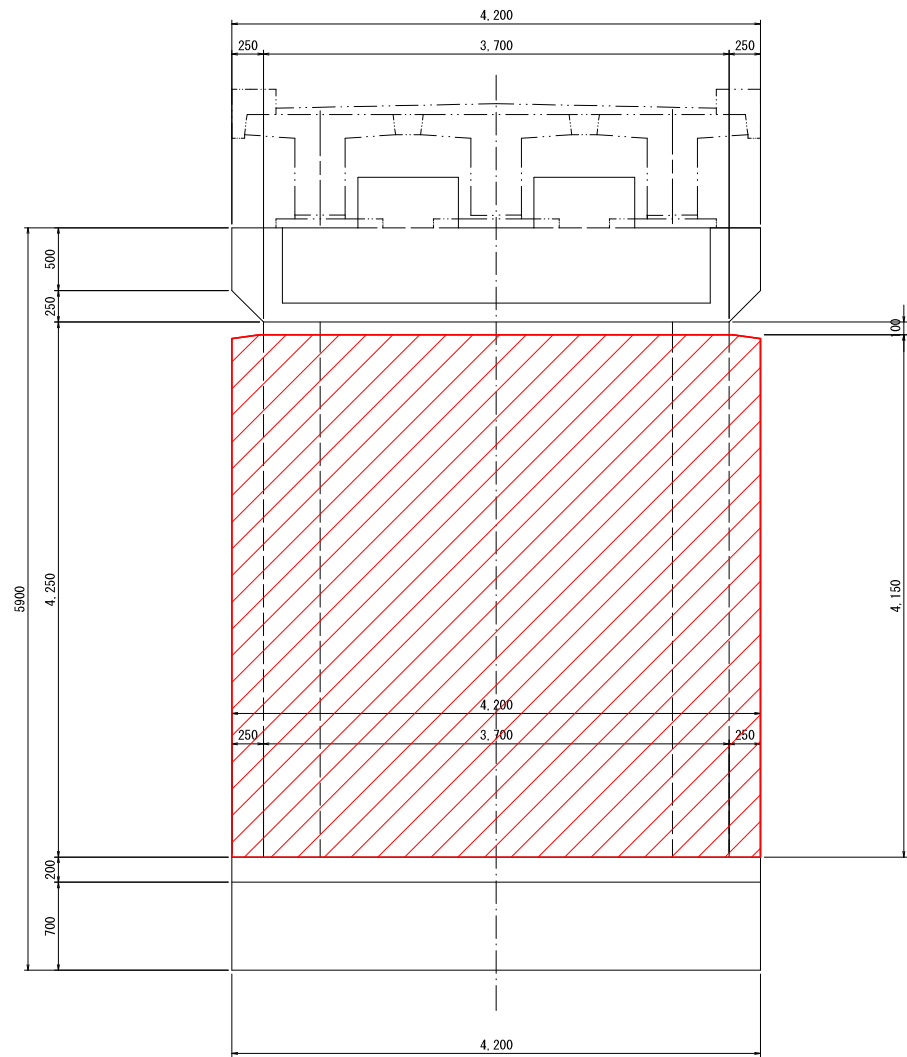
種 別	仕 様
コンクリート	24-8-25BB
鉄 筋	SD345

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	落橋防止装置工詳細図 (橋脚)		
尺 度	図示	図面番号	7
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

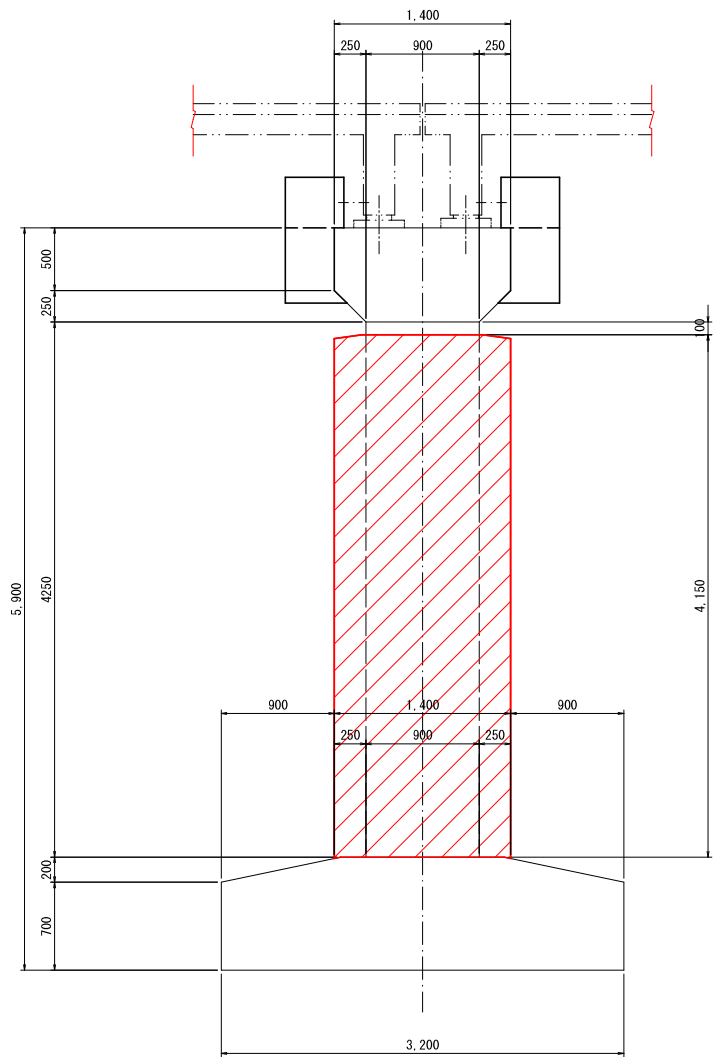
# 橋脚補強工一般図

S=1:30

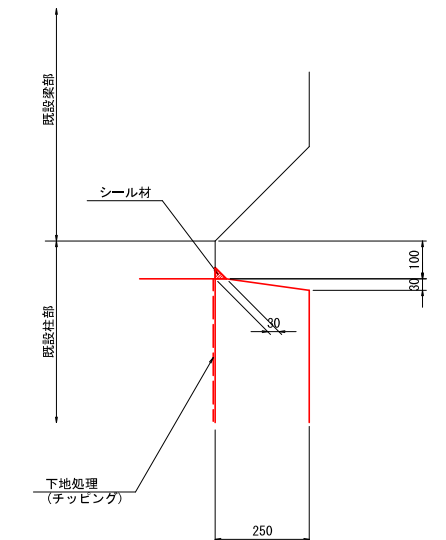
正面図



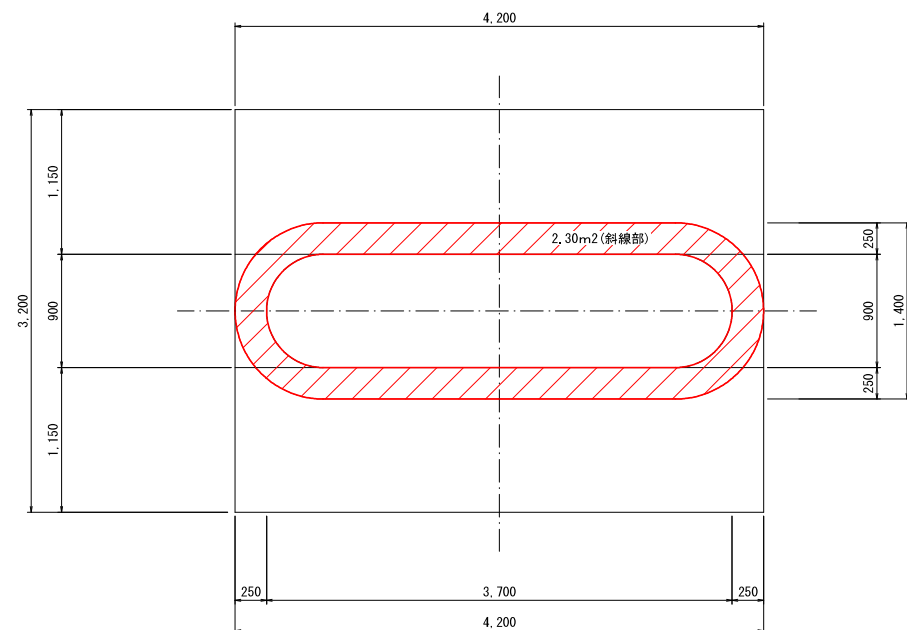
側面図



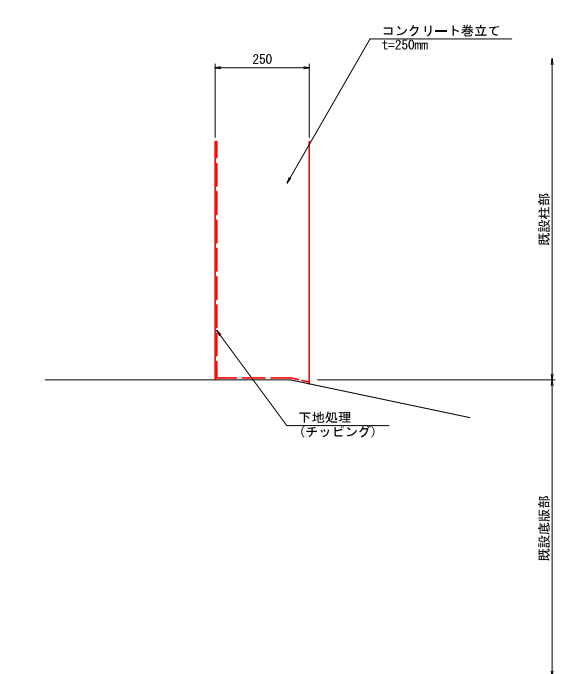
梁下端取合詳細図 S=1:10



平面図



RC巻立て部詳細図 S=1:10



## 使用材料

種別	仕様
コンクリート	24-8-25N
鉄筋	SD345

## 注記

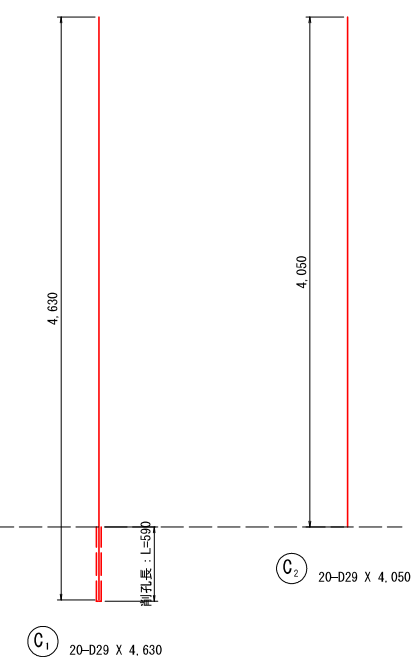
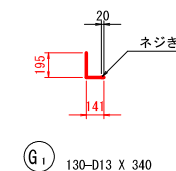
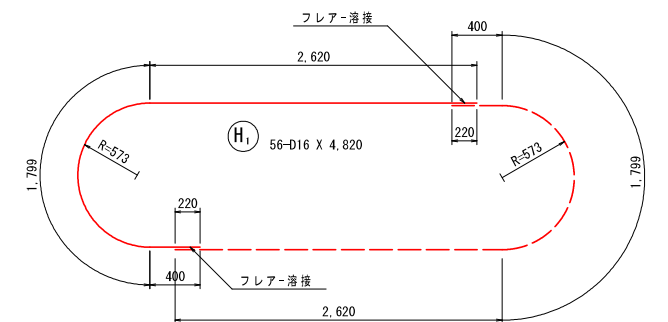
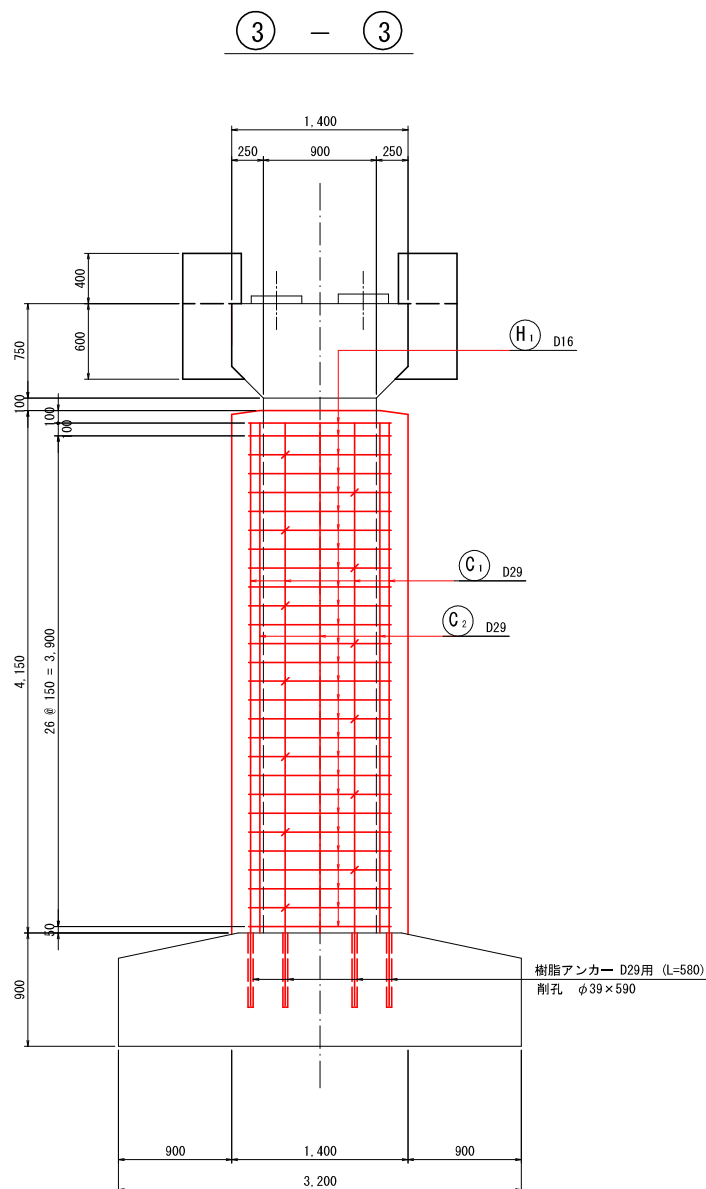
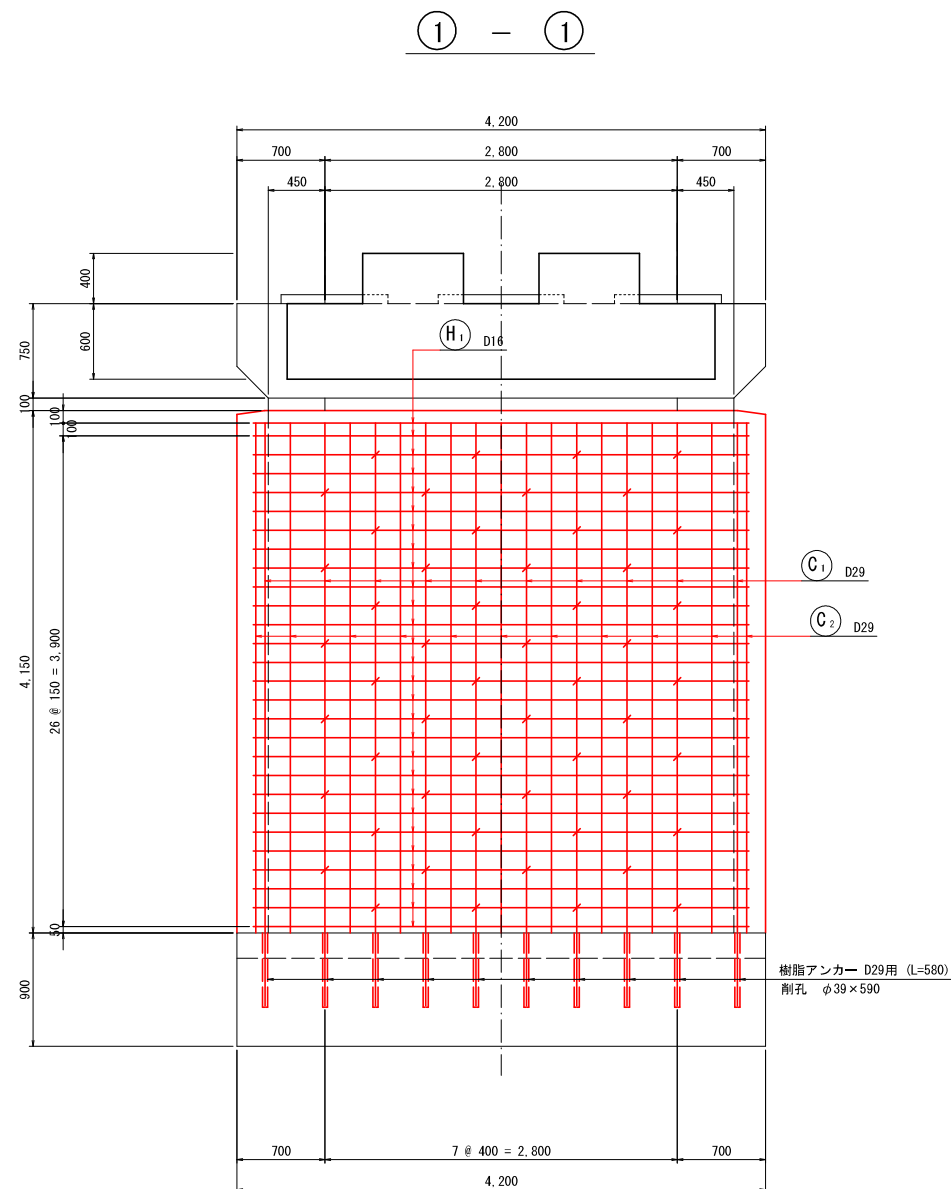
1. は、補強部分を示す。
2. 補強部分(既設面)は、コンクリート下地処理(チッピング)を行う。
3. 実施に当たっては、既設橋脚を再計測し形状・寸法の確認を行なうものとする。

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	橋脚補強工一般図		
尺度	図示	図面番号	8
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

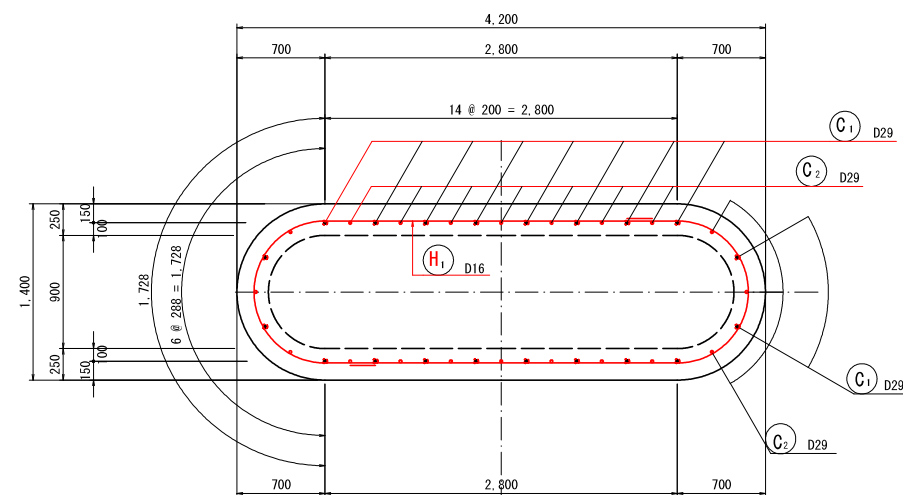


# 橋脚補強工配筋詳細図(その1)

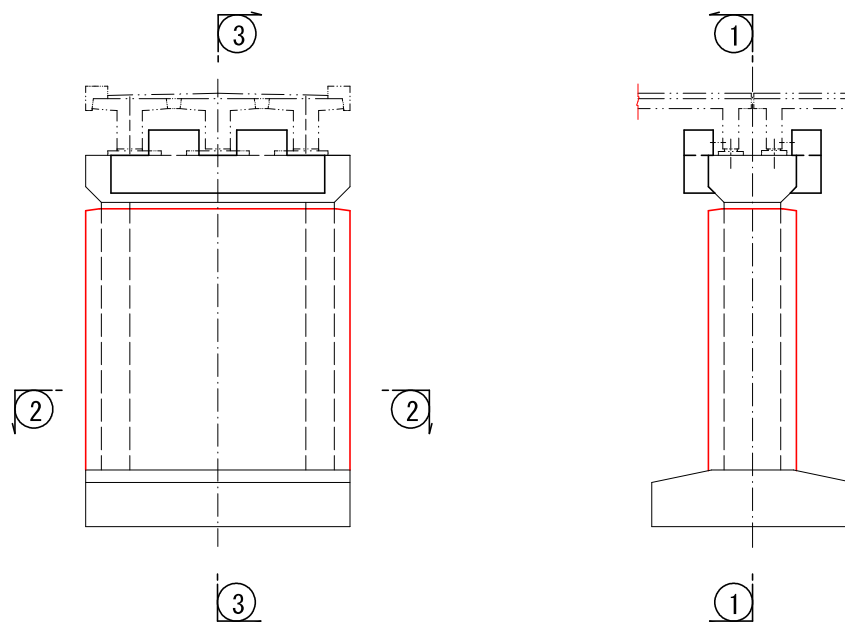
S=1:30



② - ②



位置図 S=1:60

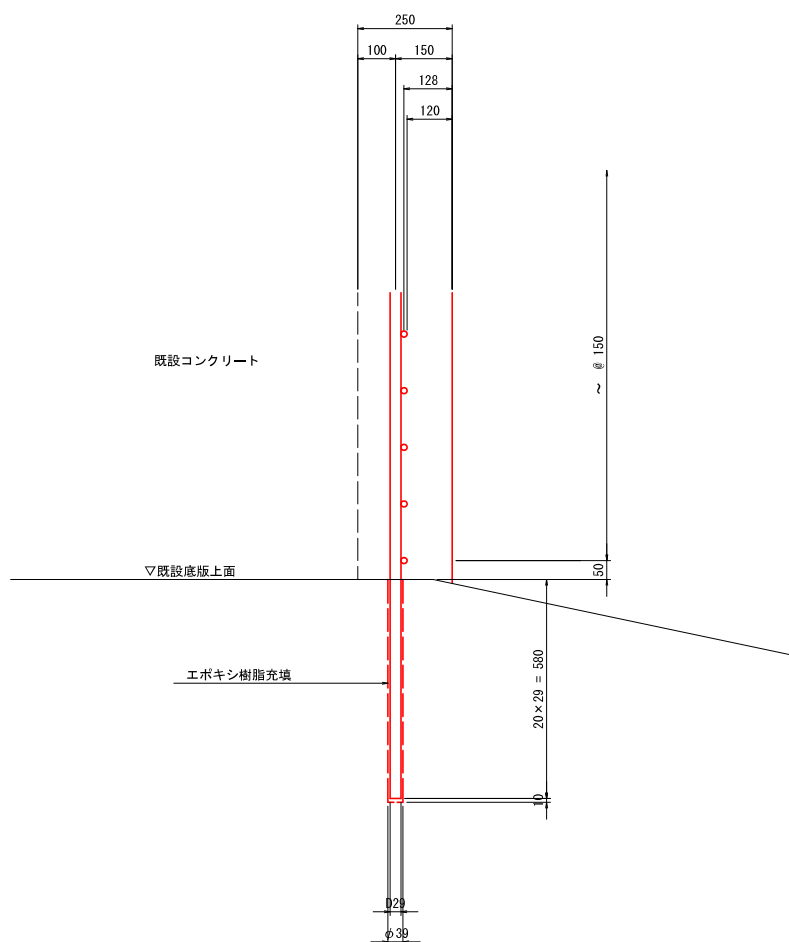


- 注 記
1. 既設構造寸法・形状は工事に先立ち再計測、再確認を実施し、補修・補強寸法に反映させること。
  2. アンカー孔の削孔前に、既設鉄筋位置を確認し既設鉄筋を避けて削孔すること。
  3. アンカー孔の削孔位置を確認後、部材を製作すること。
  4. アンカー孔の削孔位置により、安全性が低下する可能性がある場合、または構造寸法を変更する必要がある場合には、監督員と協議を行うこと。
  5. 増厚部と既設コンクリートの設置面は表面処置(下地処理)を行うこと。

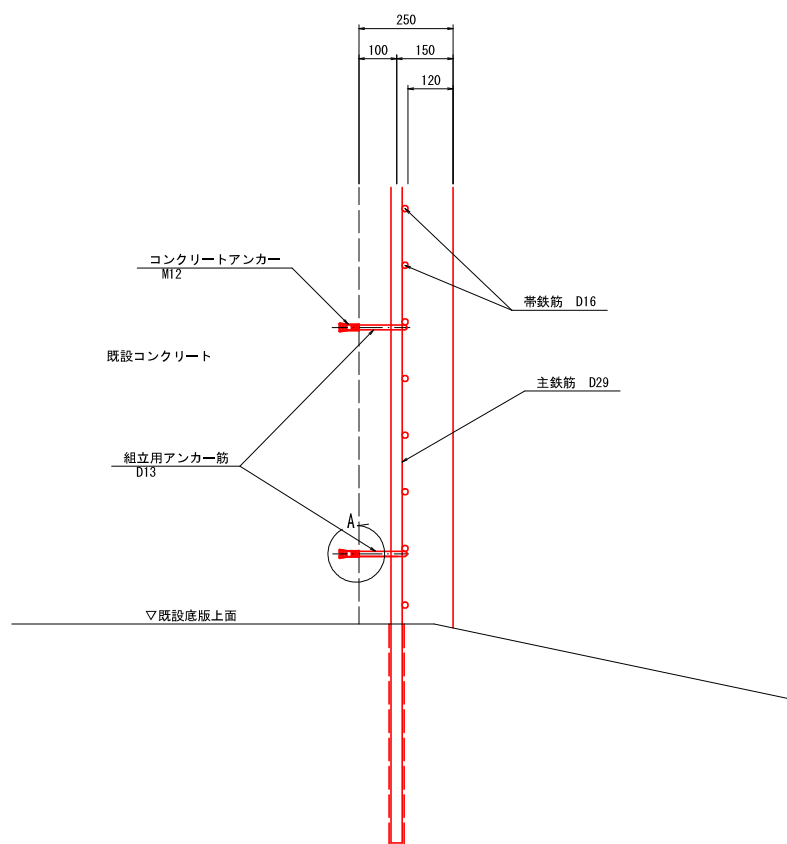
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	橋脚補強工配筋詳細図(その1)		
尺 度	図示	図面番号	9
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 橋脚補強工配筋詳細図(その2)

柱基部定着詳細図 S=1:10



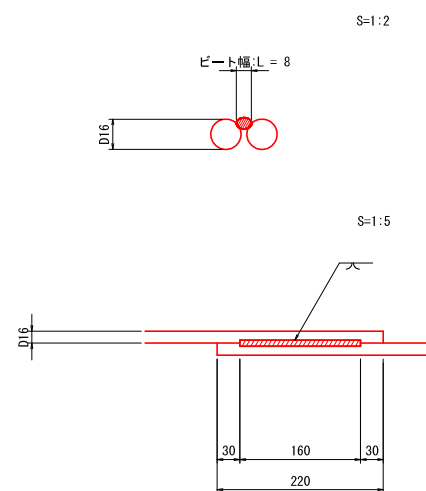
柱基部定着詳細図 S=1:10



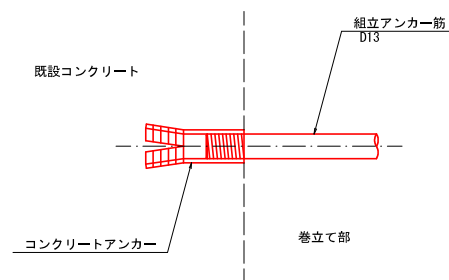
鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備 考
C <sub>1</sub>	D29	4.630	20	5.04	23.3	466	
C <sub>2</sub>	D29	4.050	20	5.04	20.4	408	
						874	
H <sub>1</sub>	D16	4.820	56	1.56	7.52	421	└
						421	
G <sub>1</sub>	D13	340	130	0.995	0.338	44	└
						44	
合 計				D29	874 kg		
				D16	421 kg		
				D13	44 kg		
総質量					1,339 kg		

帯鉄筋フレア溶接詳細図



A部詳細図 S=1:2



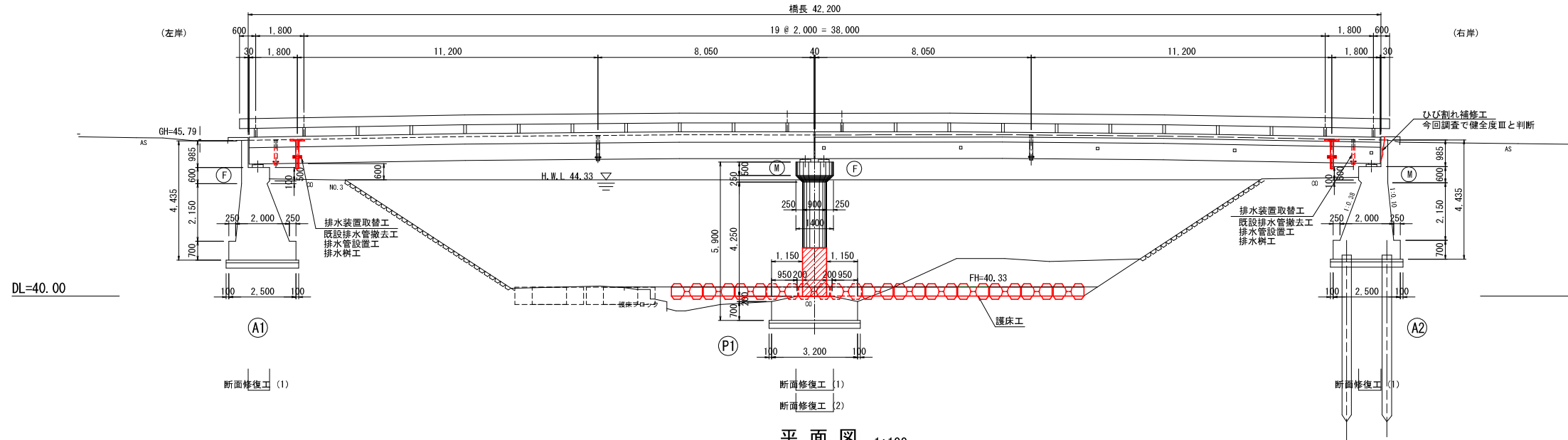
注 記

1. 既設構造寸法・形状は工事に先立ち再計測、再確認を実施し、補修・補強寸法に反映させること。
2. アンカー孔の削孔前に、既設鉄筋位置を確認し既設鉄筋を避けて削孔すること。
3. アンカー孔の削孔位置を確認後、部材を製作すること。
4. アンカー孔の削孔位置により、安全性が低下する可能性がある場合、または構造寸法を変更する必要がある場合には、監督員と協議を行うこと。
5. 増圧部と既設コンクリートの設置面は表面処置(下地処理)を行うこと。

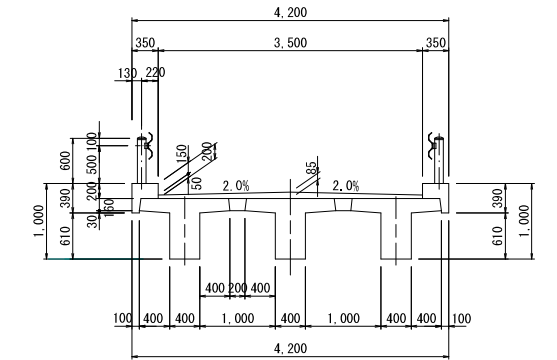
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図 面 名	橋脚補強工配筋詳細図(その2)		
尺 度	図示	図面番号	10
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 橋梁補修工一般図

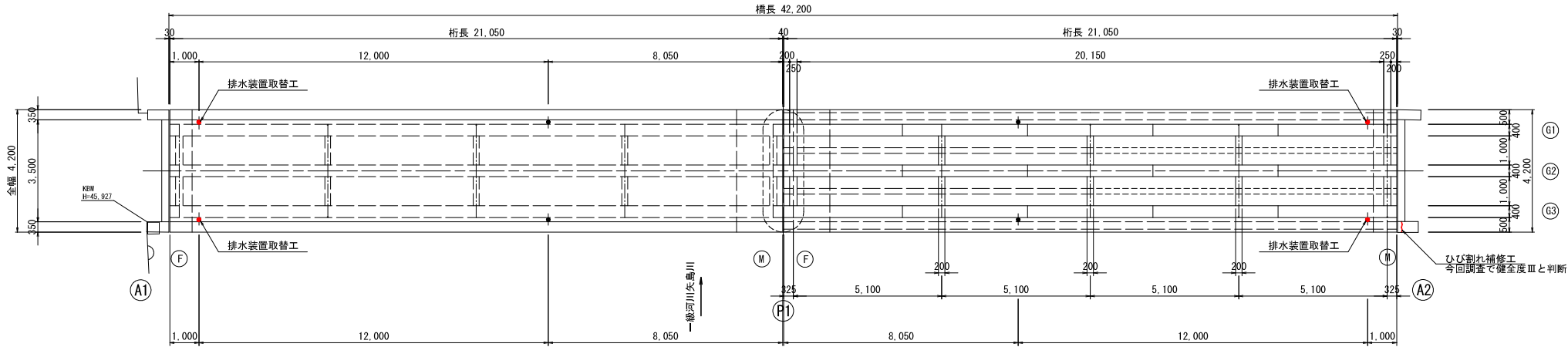
側面図 1:100



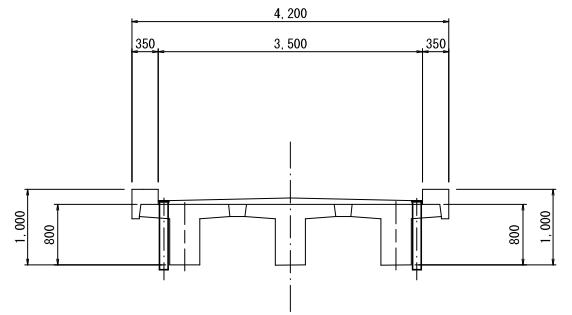
標準断面図 1:50



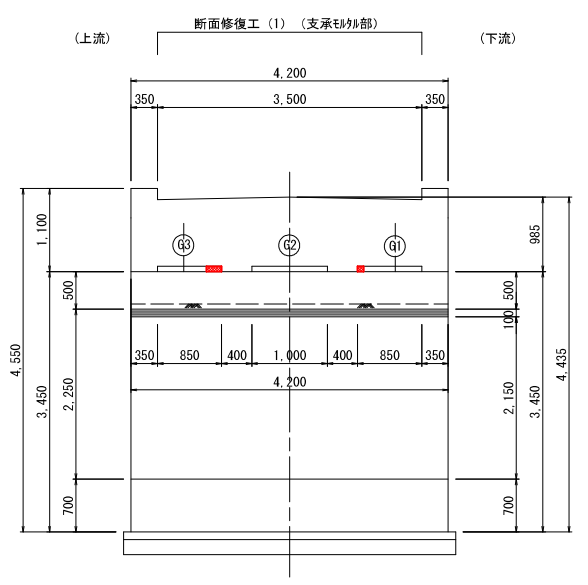
平面図 1:100



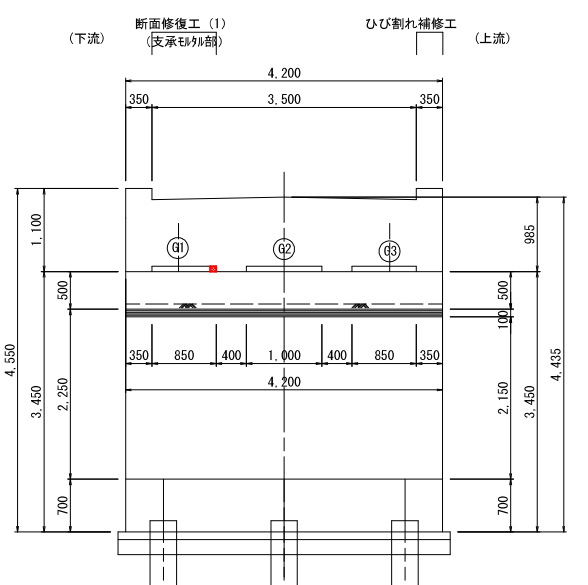
支間中央部 1:50



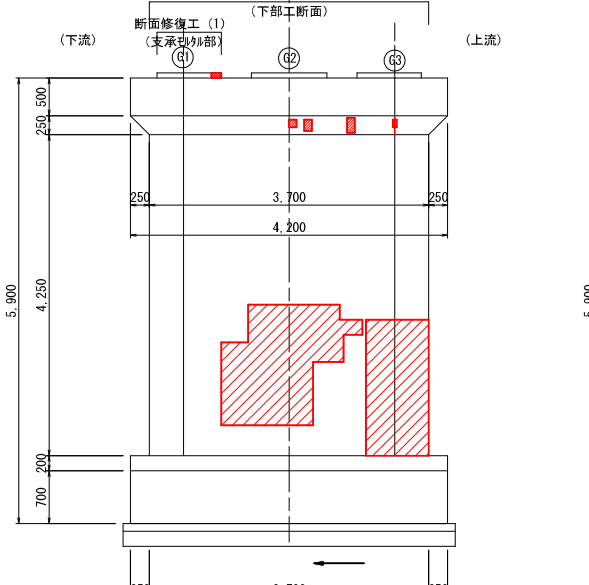
A1橋台支点部 1:50



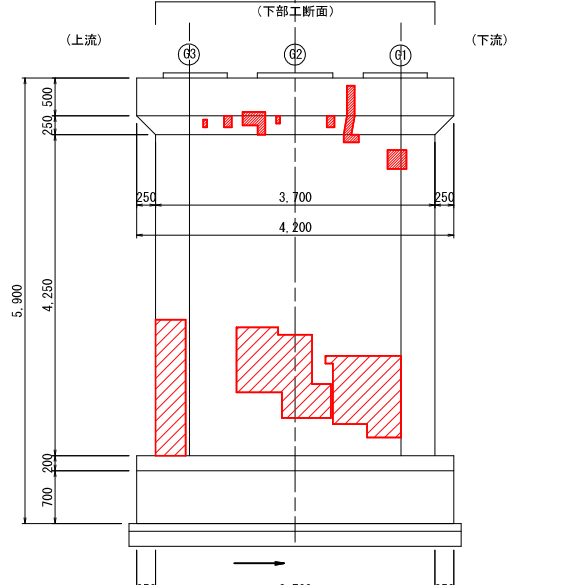
A2橋台支点部 1:50



P1橋脚 (A1側) 1:50



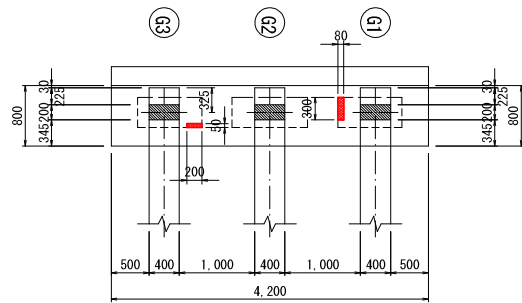
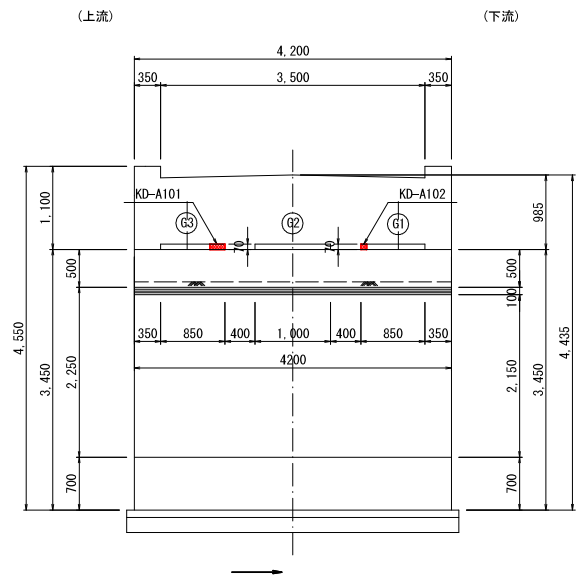
P1橋脚 (A2側) 1:50



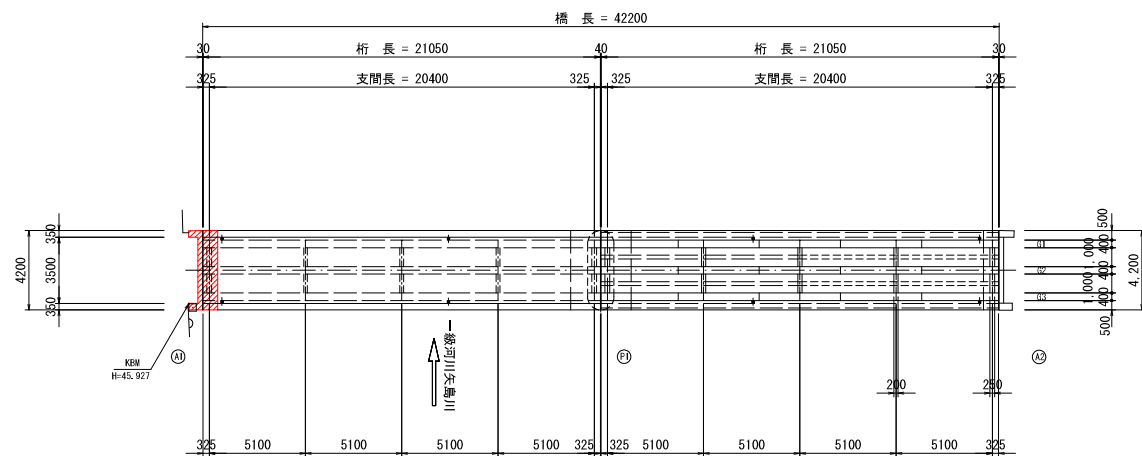
工事名	星田橋耐震補修工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	橋梁補修工一般図		
尺度	図示	図面番号	11
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 下部工補修図 (A1橋台)

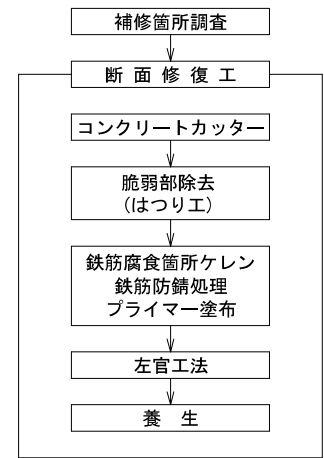
A1 橋台 1:50



配置図 1:200



断面修復工施工手順



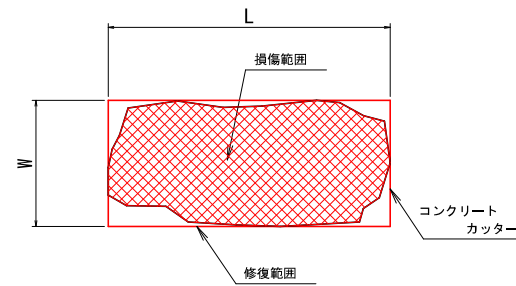
断面修復工 (1) 下部工 (A1橋台) 数量表

部材	No.	W×L×H (mm)	A=W×L (m <sup>2</sup> )
支承モルタル部	KD-A101	200×50×70	0.010
	KD-A102	80×300×70	0.024
合計			0.034

断面修復工 (1) 下部工 (A1橋台) 単位数量表

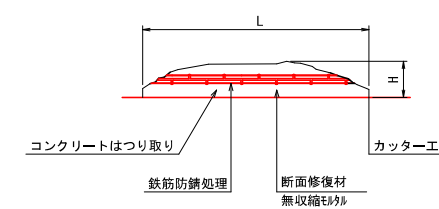
名称	規格	単位	数量	摘要
断面修復工 (1)	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.002	支承モルタル部
一式当り				

断面修復範囲図



※ 支承モルタル部は狭隘なため、余裕を考慮せず実寸法で断面修復を行う。

断面修復工詳細図

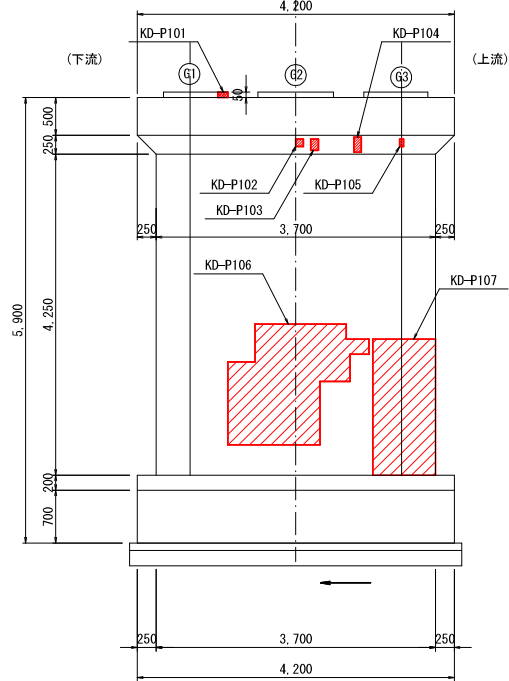


- ※ 断面修復については修復面所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
- ※ なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- ※ 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
- ※ カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
- ※ 防錆材(亜硝酸カルシウム)は鉄筋に均一に塗布する。
- ※ 鉄筋の腐食が著しい場合は鉄筋の背面まではつり、脆弱部を取除くこと。

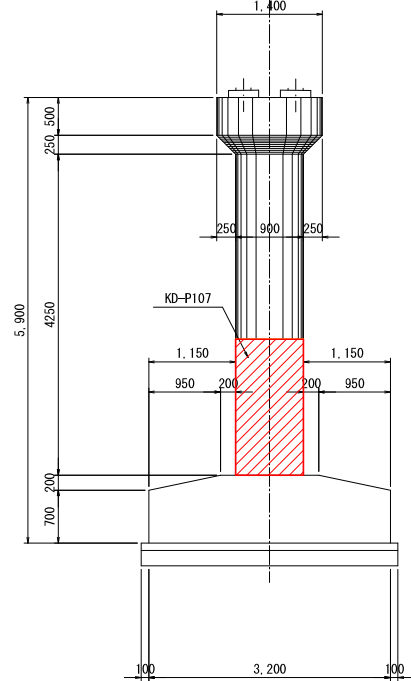
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	下部工補修図 (A1橋台)		
尺度	図示	図面番号	12
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 下部工補修図 (P1橋脚)

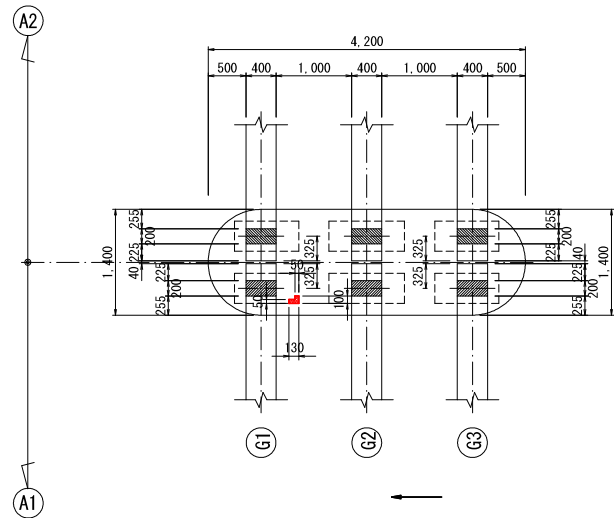
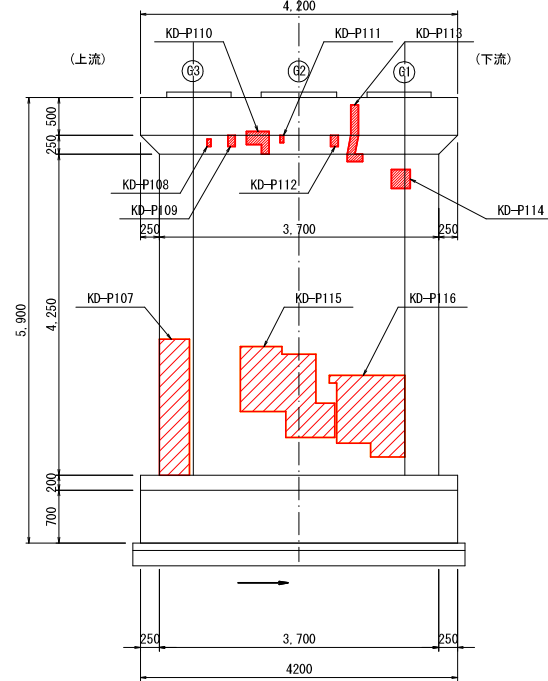
P1橋脚 (A1側) 1:50



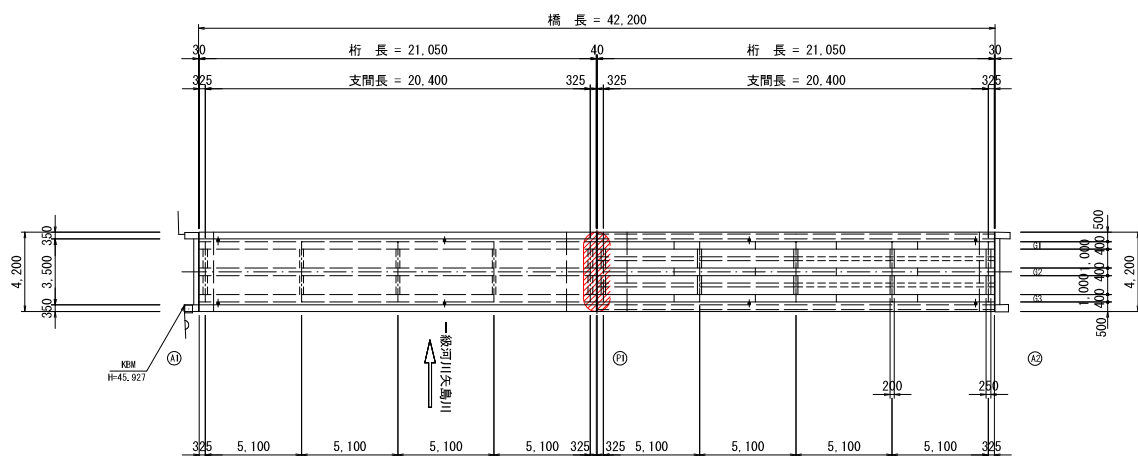
P1橋脚 (上流側) 1:50



P1橋脚 (A2側) 1:50



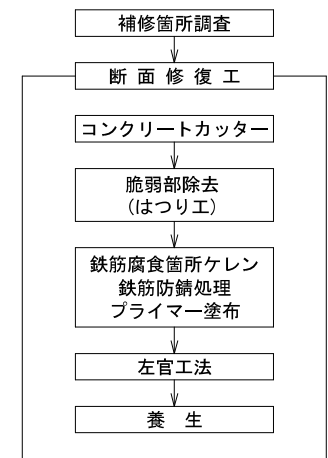
配置図 1:200



断面修復工 下部工数量表

部材	No.	W×L×H (mm)	A=W×L (m <sup>2</sup> ) ※余裕考慮
下部工断面	KD-P101	130×100×50	0.013
	KD-P102	100×100×30	0.023
	KD-P103	100×200×30	0.038
	KD-P104	200×300×30	0.088
	KD-P105	50×150×30	0.020
	KD-P106	1600×1300×50	2.228
	KD-P107	1800×1500×90	2.868
	KD-P108	100×100×30	0.023
	KD-P109	100×150×30	0.030
	KD-P110	300×500×30	0.193
	KD-P111	50×100×30	0.015
	KD-P112	100×200×30	0.038
	KD-P113	100×900×30	0.143
	KD-P114	250×250×30	0.090
	KD-P115	1300×1200×50	1.688
	KD-P116	900×900×20	0.903
合計			
	無収縮モルタル		0.013
	ポリマーセメントモルタル		8.388

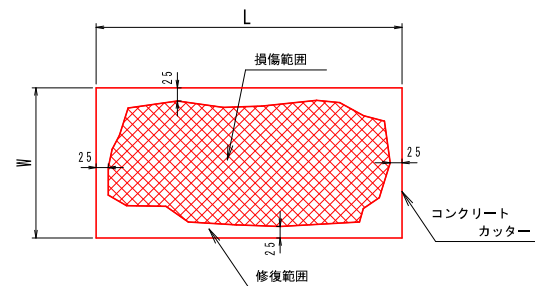
断面修復工 施工手順



断面修復工 下部工単位数量表

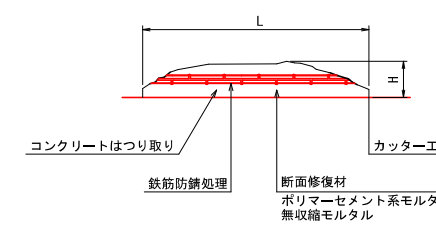
名称	規格	単位	数量	換算	一式当り
断面修復材 (1)	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.001		支承部外部
断面修復材 (2)	ポリマーセメントモルタル	m <sup>3</sup>	0.493		下部工断面

断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。  
ただし、支承モルタル部は狭いため、余裕を考慮せず実寸法で断面修復を行う。

断面修復工詳細図

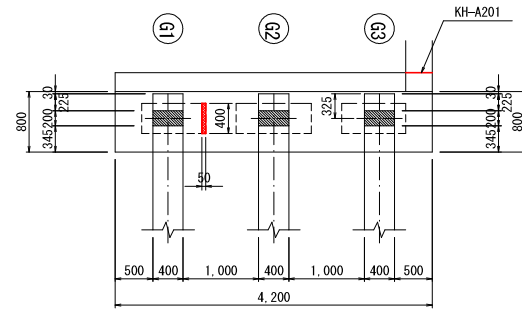
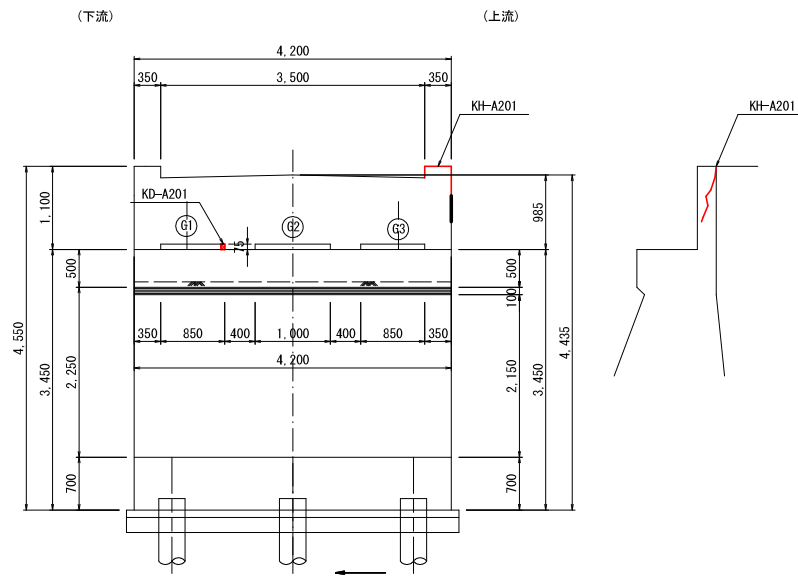


※ 断面修復については修復面の周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。  
※ 鉄筋防錆処理について  
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。  
防錆材(亜硝酸カルシウム)は鉄筋に均一に塗布する。  
※ 鉄筋の腐食が著しい場合は鉄筋の背面までのはつり、脆弱部を取除くこと。

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	下部工補修図 (P1橋脚)		
尺度	図示	図面番号	13
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 下部工補修図 (A2橋台)

A2 橋台 1:50



断面修復工 下部工数量表

部材	No.	W×L×H (mm)	A=W×L (m <sup>2</sup> )
支承 部	KD-A201	50×400×75	0.020
合計			0.020

断面修復工 下部工単位数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
断面修復材 (1)	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.005	支承部

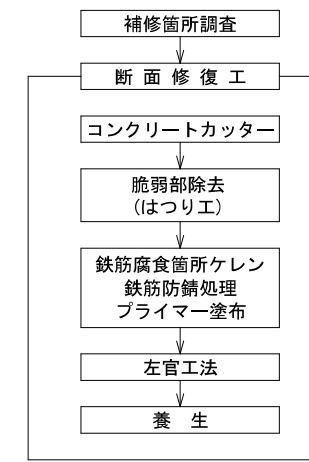
ひび割れ補修工 下部工数量表

部材	No.	延長 (m)	摘要
胸壁背面 (地覆部)	KH-A201	1.25	幅 4mm 深 50mm
合計		1.25	

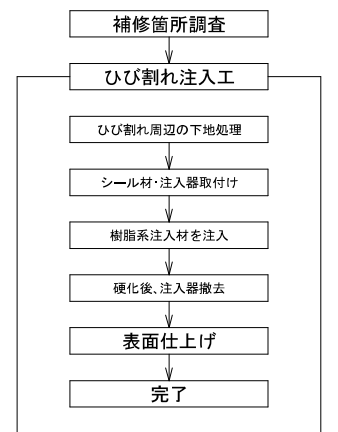
ひび割れ補修工 単位数量表

名称	規格	単位	数量	摘要
注入材	エポキシ樹脂系	m	1.25	ひび割れ幅(深) 計測値
		kg	0.345	1150kg/m <sup>3</sup>
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	0.328	シーリング幅50mm シーリング厚3mm 1750kg/m <sup>3</sup>
ひび割れ注入用インジェクター		個	5	

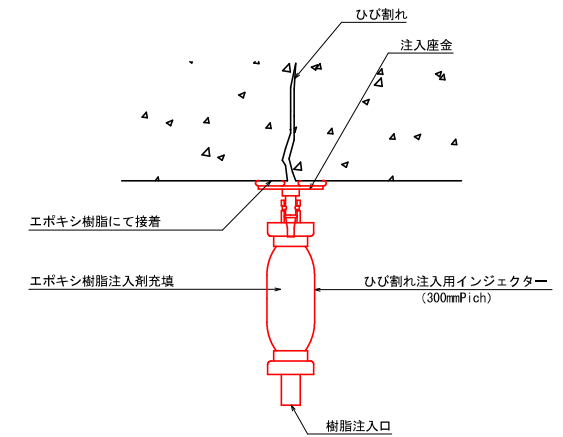
断面修復工施工手順



ひび割れ補修工施工手順

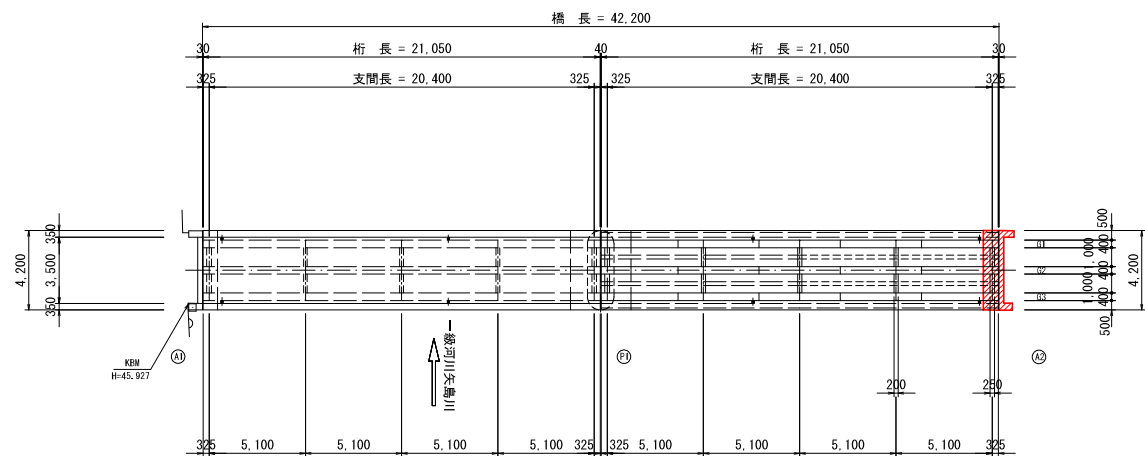


ひび割れ補修工詳細図

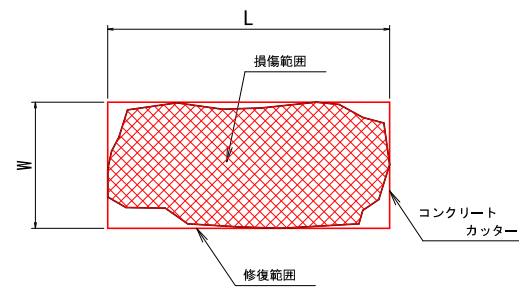


※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

配置図 1:200

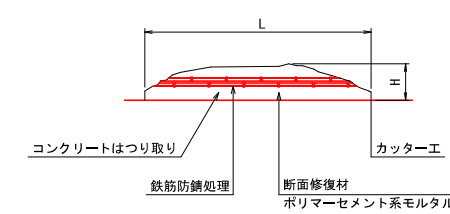


断面修復範囲図

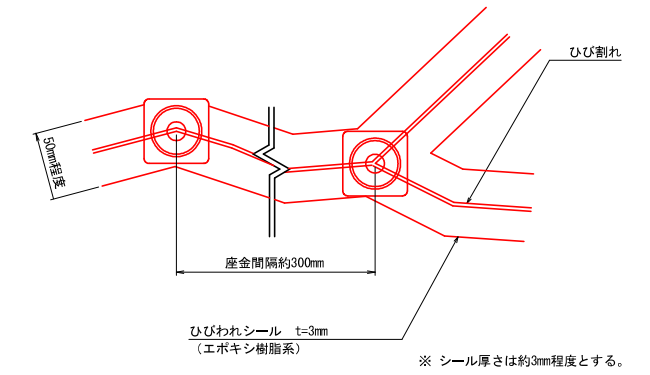


※ 支承モルタル部は狭いため、余裕を考慮せず実寸法で断面修復を行う。

断面修復工詳細図



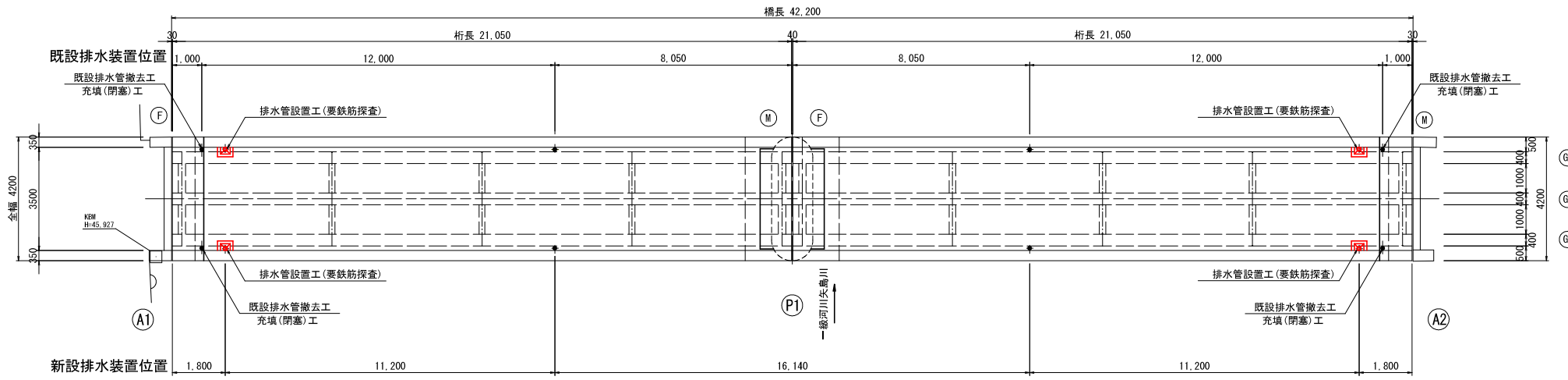
※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。  
※ 鉄筋防錆処理について  
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。  
防錆材(亜硝酸カルシウム)は鉄筋に均一に塗布する。  
※ 鉄筋の腐食が著しい場合は鉄筋の背面まではつり、脆弱部を取除くこと。



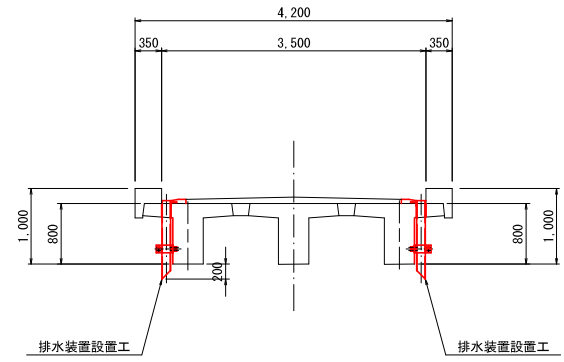
工事名	星田橋耐震補修工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	下部工補修図 (P2橋台)		
尺度	図示	図面番号	14
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 排水装置取替工

平面図 1:100

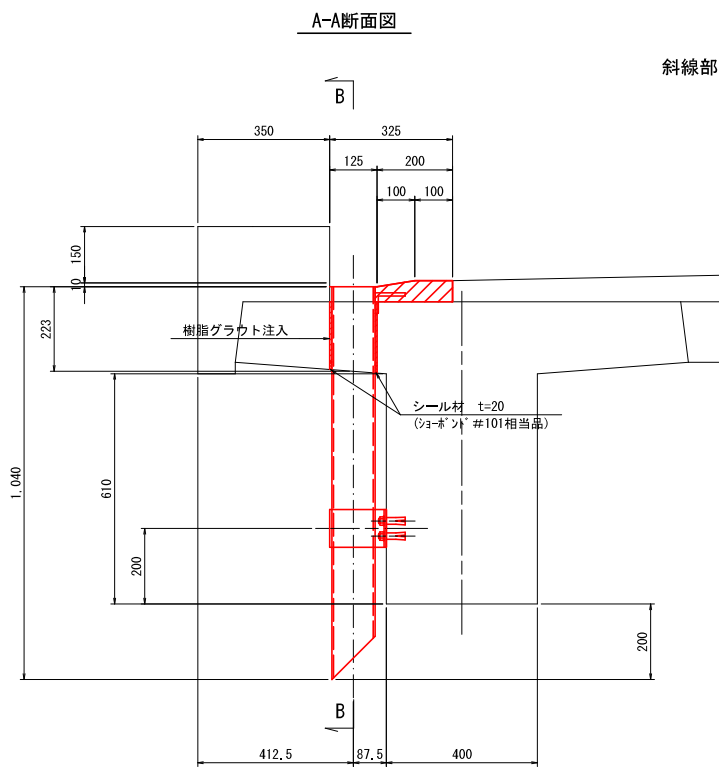


正面図 1:50

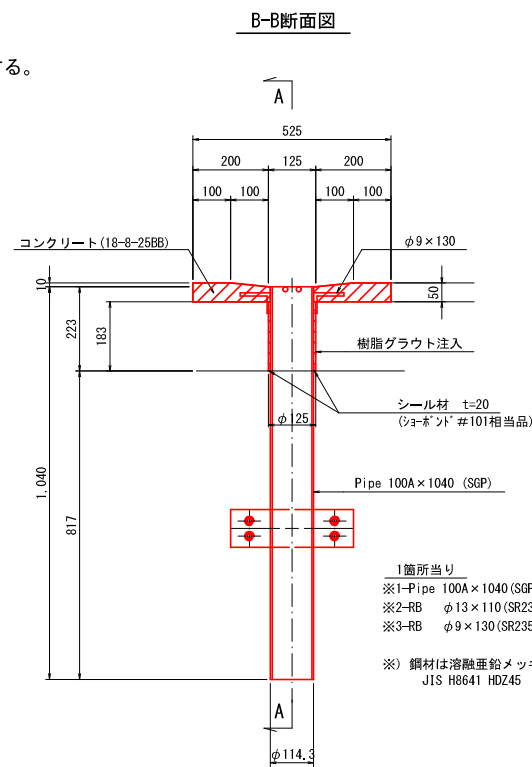


既設排水管撤去工 S=1:10

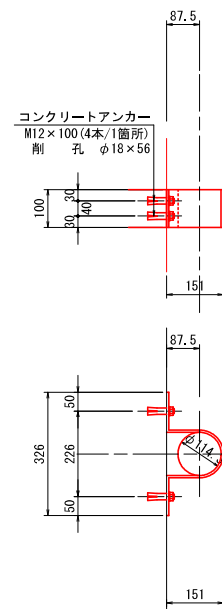
排水管設置工詳細図 S=1:10



斜線部を排水樹とする。



排水管取付金具 S=1:10

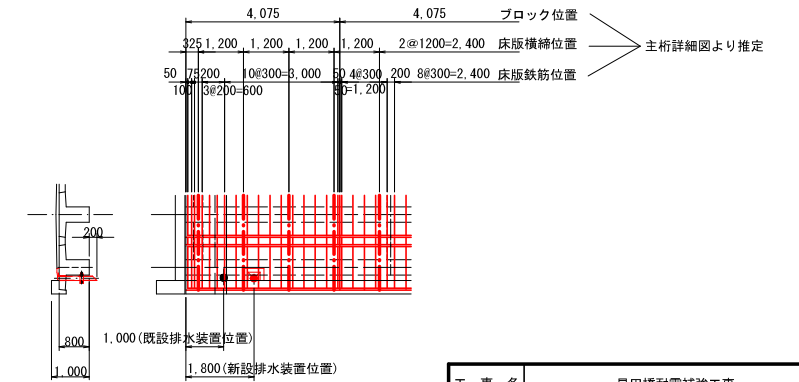


1箇所当り  
 1-PL 100×6×564 (SS400)  
 4-コンクリートアンカー M12×100 (垂鉛メッキ仕様)  
 注) 取付金具は、溶融亜鉛めっきを施すものとする。  
 付着量は、JIS H8641 HDZ45とする。  
 ただし、ボルト・ナット類はHDZ35とする。

既設排水管撤去工数量表 (1箇所当り)

名称	規格	単位	数量
排水管切断	SGP 100A	kg	2.961
中詰め材	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.002
型枠		m <sup>2</sup>	0.010

排水装置平面位置検討図 S=1:100



排水樹工数量表 (1箇所当り)

名称	規格	単位	数量
カッター工		m	1.175
コンクリートはつり工		m <sup>3</sup>	0.009
コンクリート削孔工		孔	4
搬運搬工		m <sup>3</sup>	0.012
コンクリート工	18-8-25BB	m <sup>3</sup>	0.008

排水管取付工数量表 (1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	
排水管	100A	SGP	kg	12.7
RB	φ13	SR235	kg	0.2
RB	φ9	SR235	kg	0.2
PL	t=6mm	SS400	kg	2.7
BNW	M12用	SS400	組	4
CA	M12×100	SS400	個	4
樹脂グラウト	比重=1.13		kg	0.4
シーリング材	エポキシ樹脂系		kg	0.1
削孔	φ18×56	孔	4	

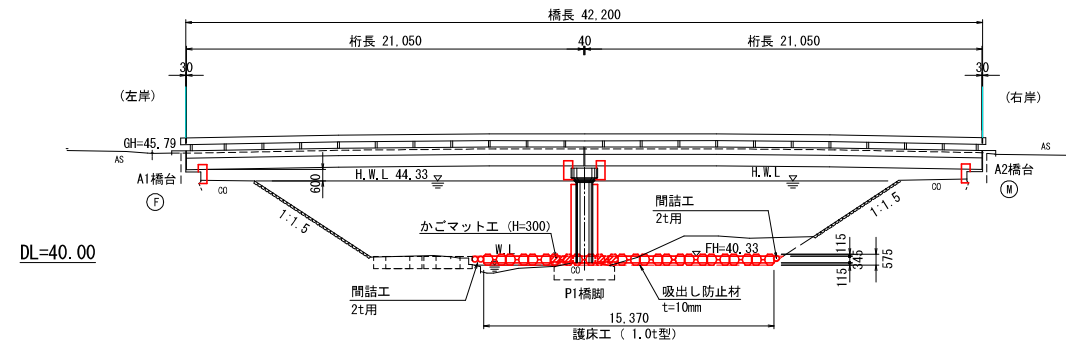
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。  
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	排水装置取替工		
尺度	図示	図面番号	15
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		



# 護床工工法図

側面図 (NO. 11+75.0)  
1:200



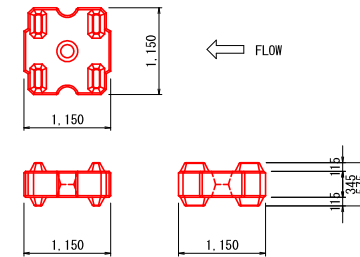
平面図  
1:200



製品規格寸法図

S=1:50

(リーフロック I 型 1.0t型同等品)



護床工 数量表

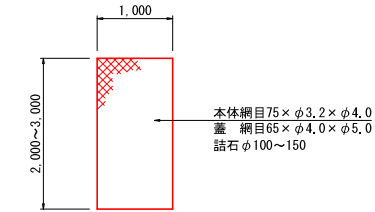
一式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
護床ブロック	1t型	個	144	1.023t/個 (参考)
連結金具	シャクルφ16	個	172	

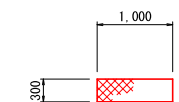
かごマット工

S=1:50

平面図



断面図

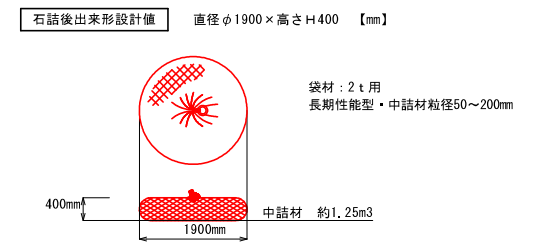


かごマット工 数量表

一式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
かごマット	1000M×4600L×300H	個	2	A=4,60m <sup>2</sup> ×2=9,20m <sup>2</sup>
間上詰石	詰石φ100~150	m <sup>3</sup>	2.76	V=4,60×2×0,30

間詰工参考図



(注) 出来形は中詰め材の粒径・形状により変動する。

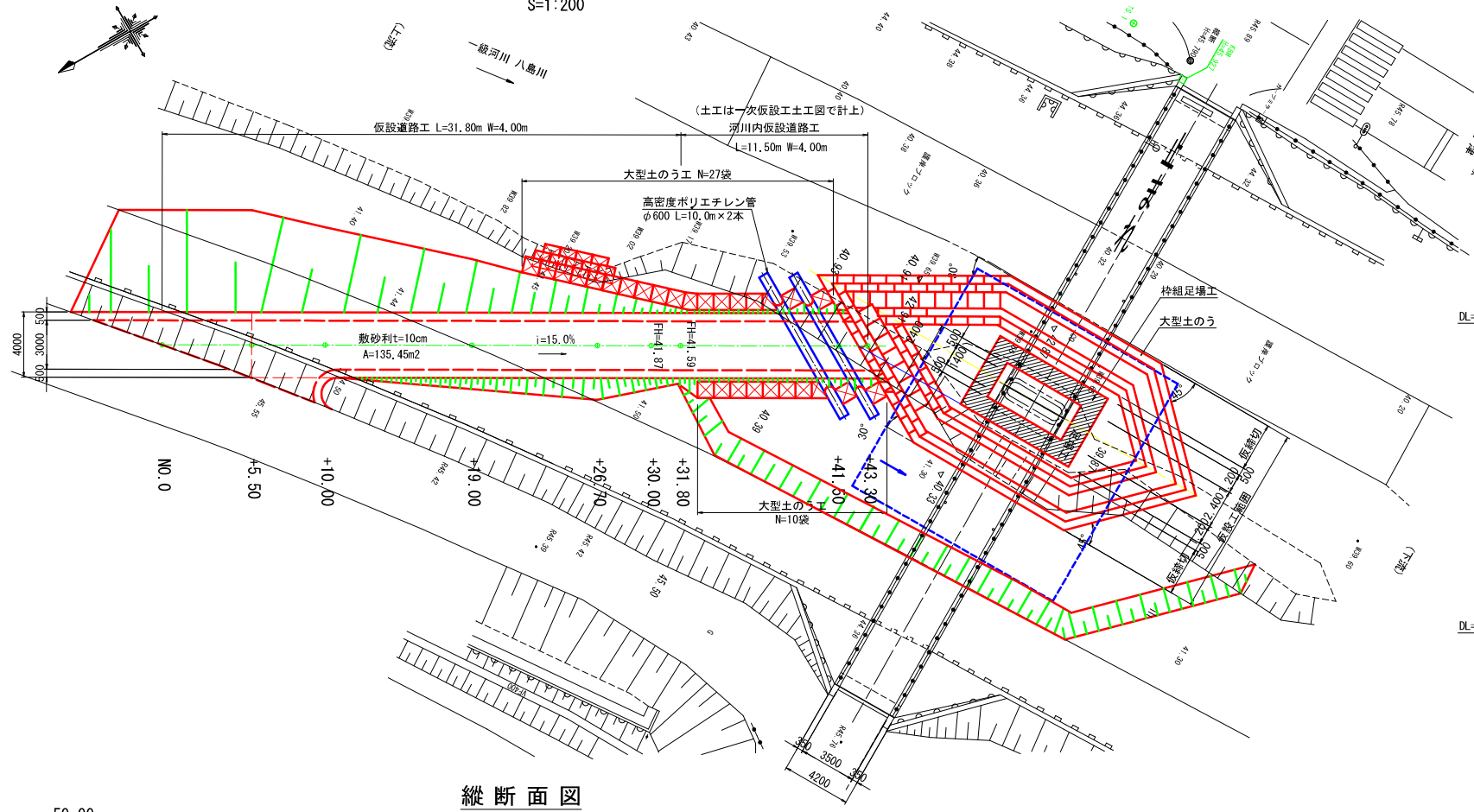
護床工設置の範囲

橋軸方向 ——橋脚から末施工区間10m未満を保護する。  
直角方向 ——橋脚から5m以上の範囲を保護する。

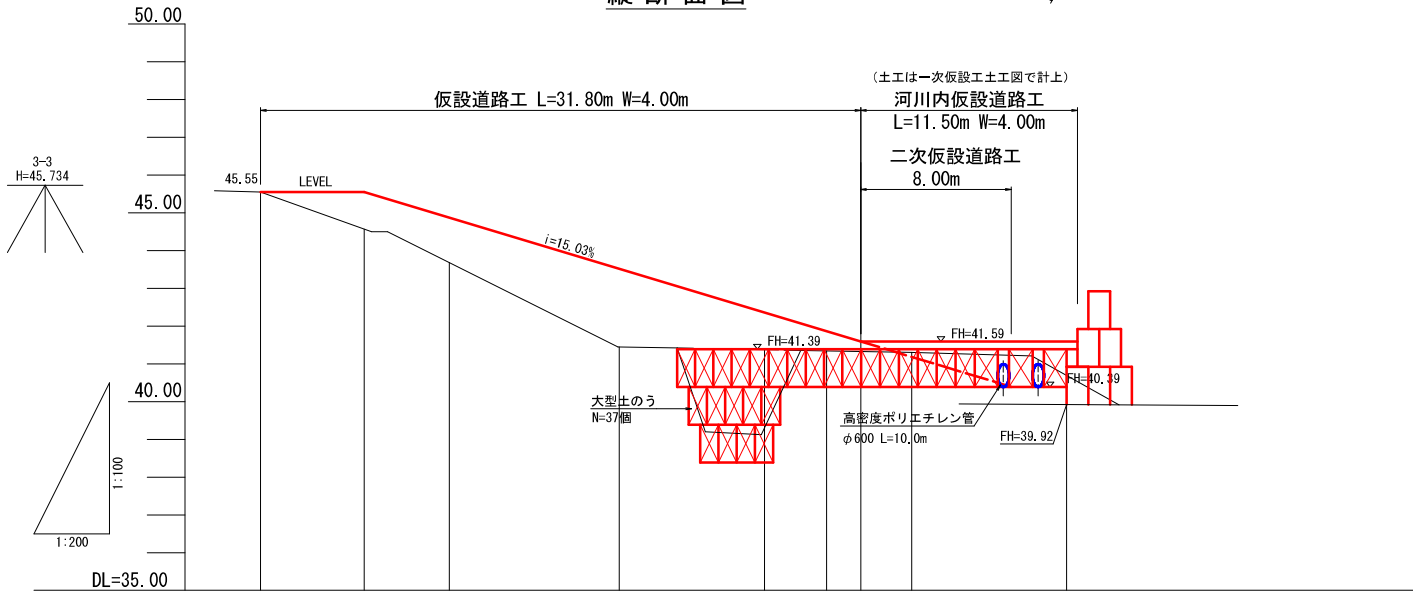
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	護床工工法図		
尺度	図示	図面番号	16
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 仮設道路工工法図

横断面図  
S=1:200

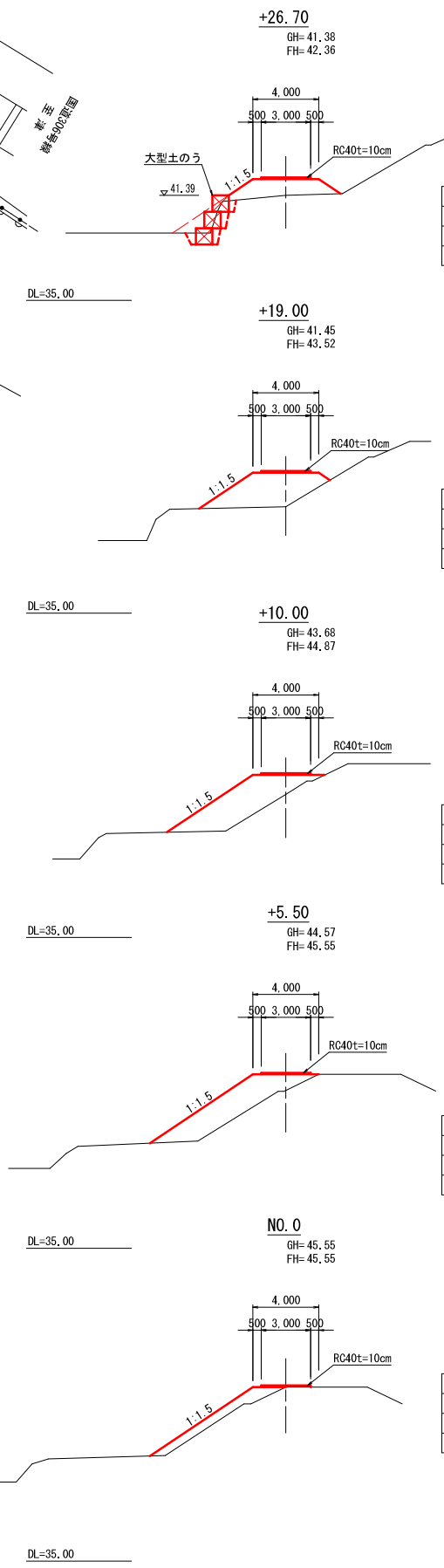


縦断面図

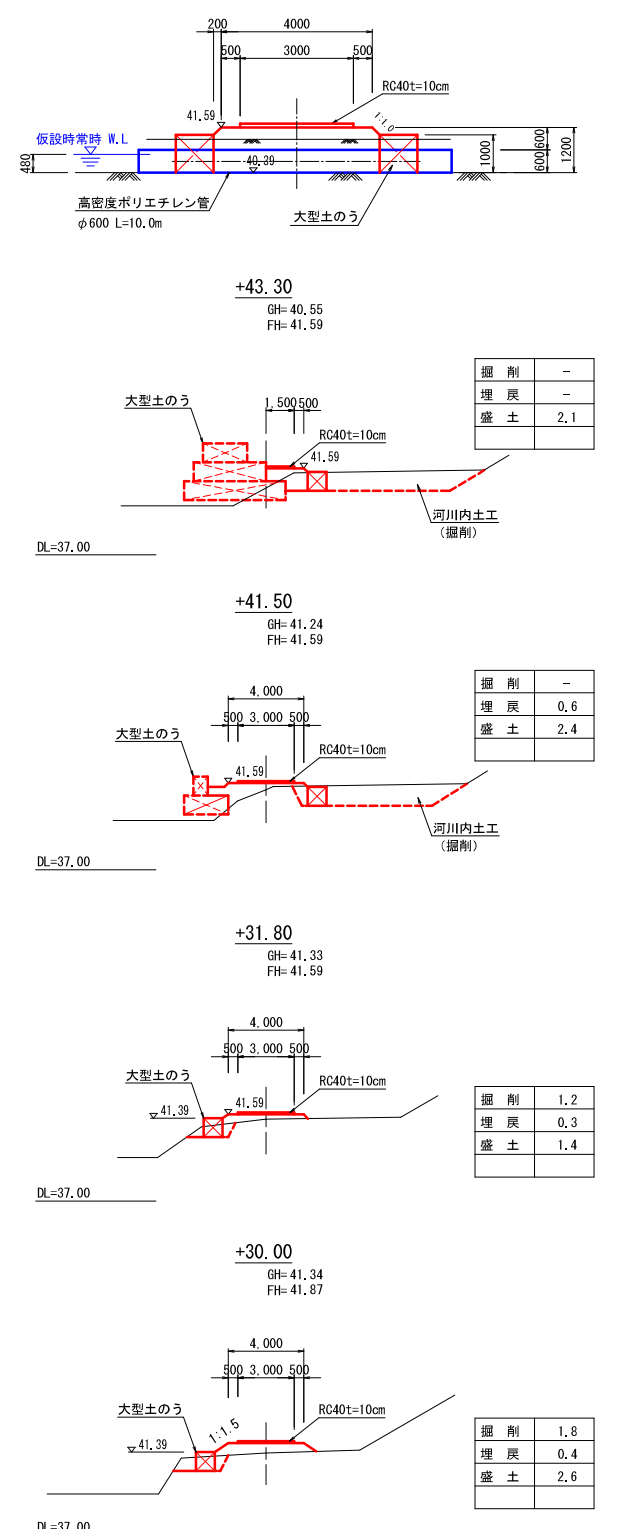


勾配	LEVEL L=5.50m		i=15.06% L=26.30m		i=15.00%	
計画高	45.55	45.55	44.87	43.52	42.36	41.39
地盤高	45.55	44.57	43.68	41.40	41.39	40.60
追加距離	0.00	5.50	10.00	19.00	26.70	42.70
単距離	0.00	5.50	4.50	9.00	7.70	10.90
測点	NO.0	+5.50	+10.00	+19.00	+26.70	+42.70

横断面図  
S=1:200



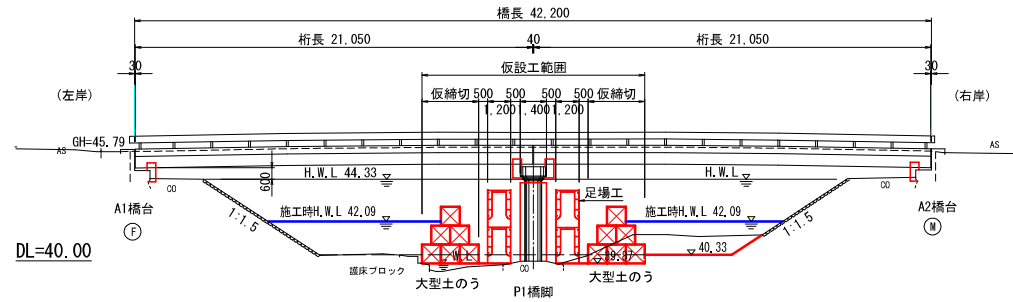
河川内横断面図  
S=1:100



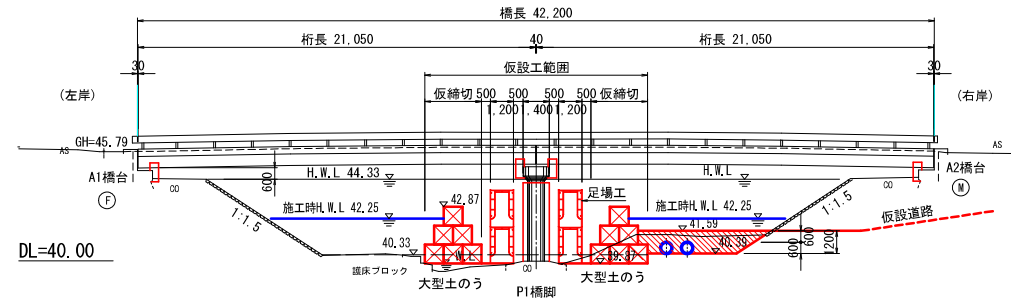
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	仮設道路工工法図		
尺度	図示	図面番号	17
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

一次仮設工一般図 (参考図)

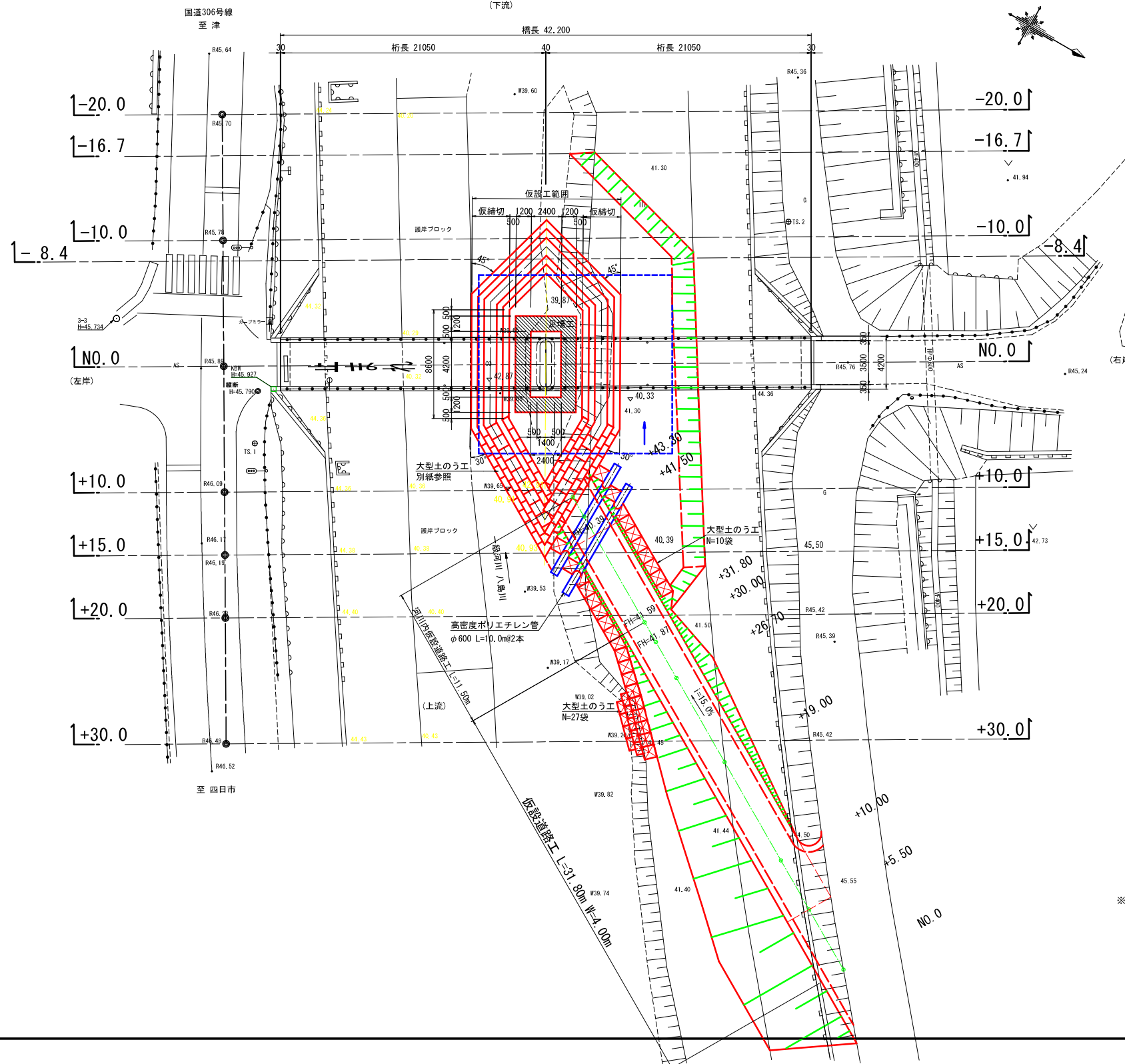
NO.0側面図 (NO.11+75.0)  
1:200



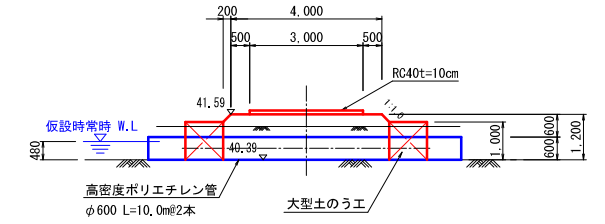
+15.0側面図 (NO.11+90.0)  
1:200



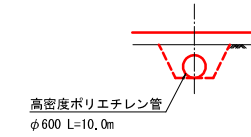
平面図  
1:200



河川内横断面図  
S=1:100



仮排水管横断面図  
S=1:100



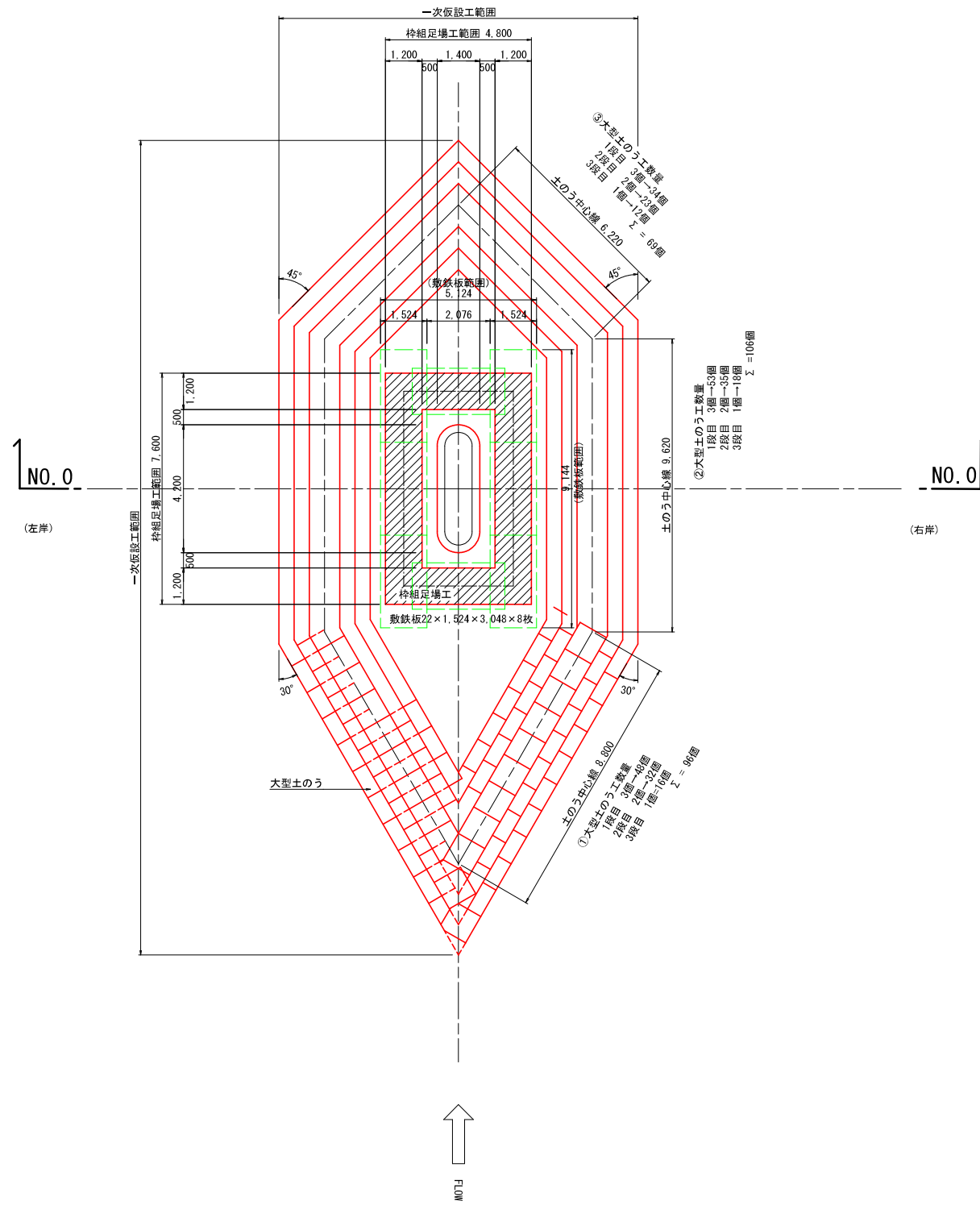
※) 一次仮設工及び、仮設道路工の一部で使用済大型土のうは、二次仮設工締切に流用するものとする。

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	一次仮設工一般図 (参考図)		
尺度	1:200	図面番号	18
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

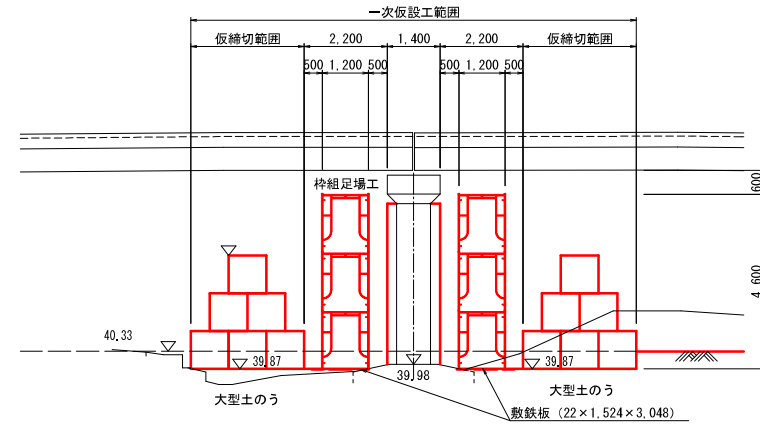
# 一次仮設工工法図 (参考図)

S=1:100

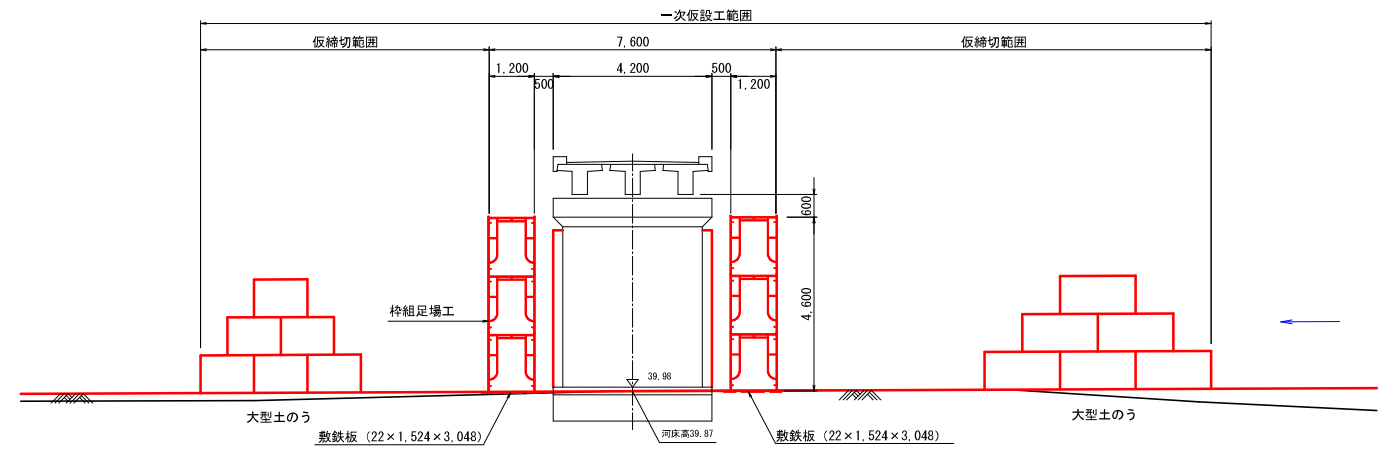
平面図



NO.0断面図



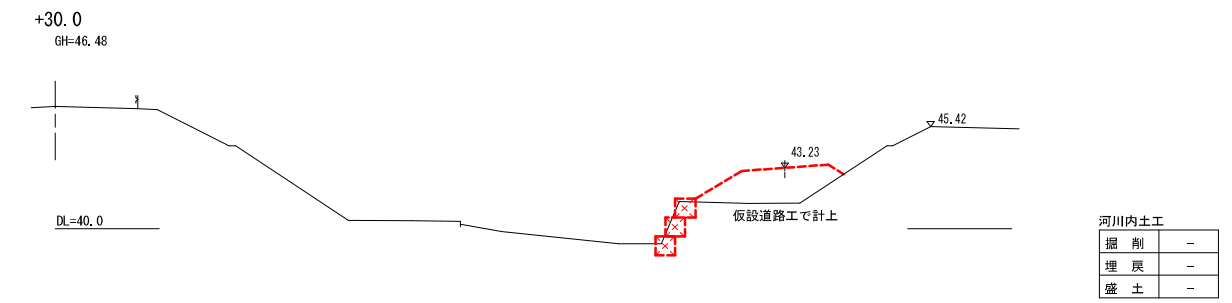
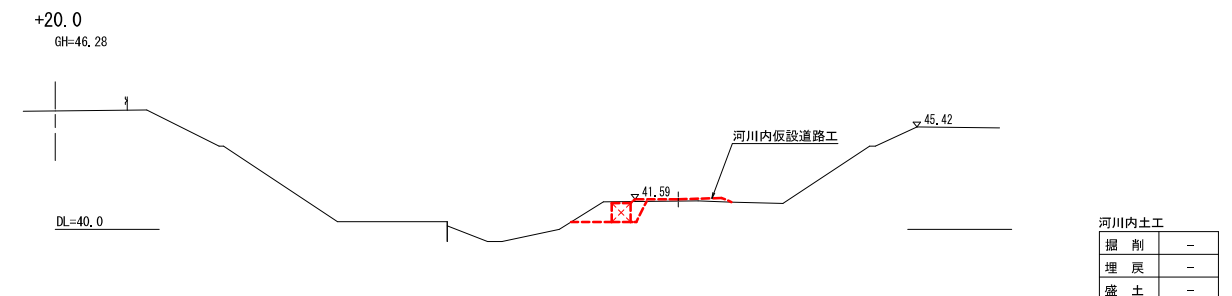
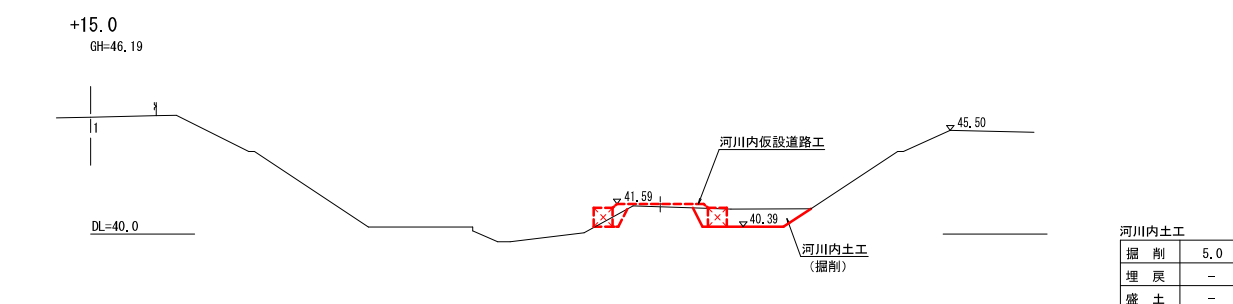
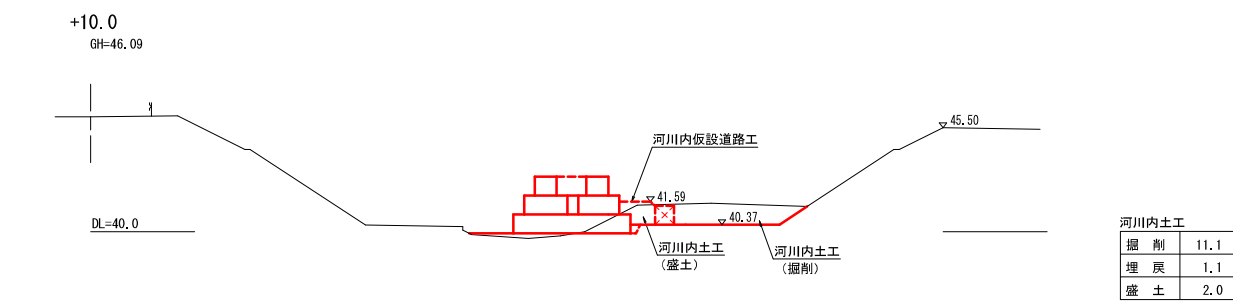
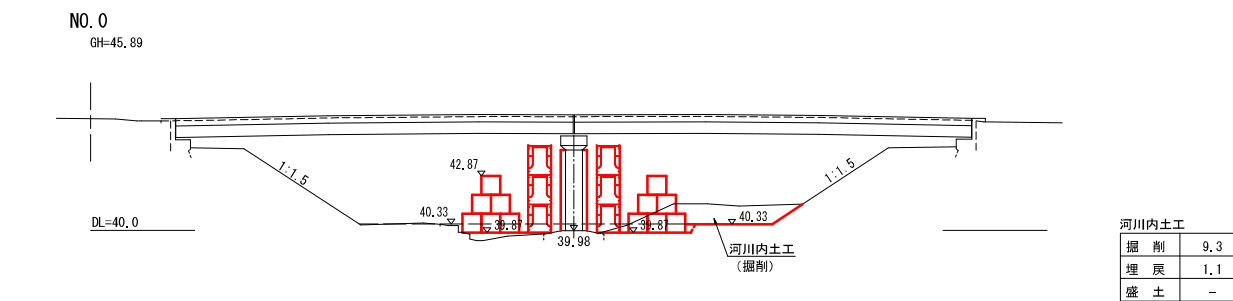
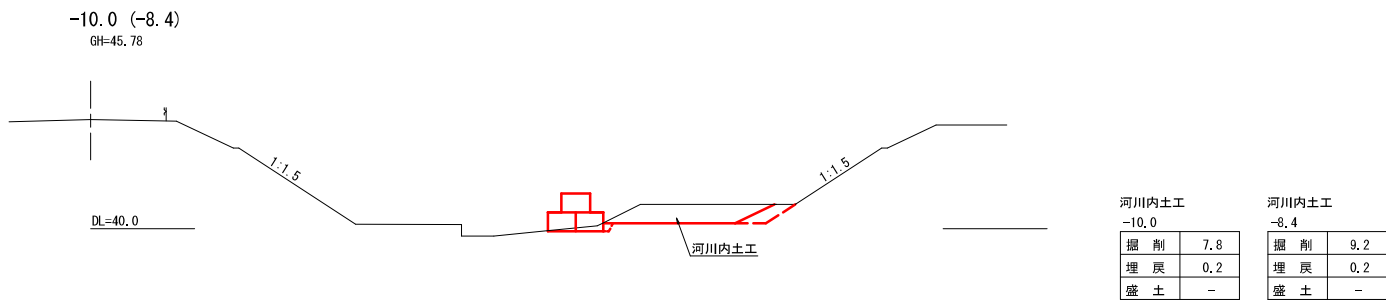
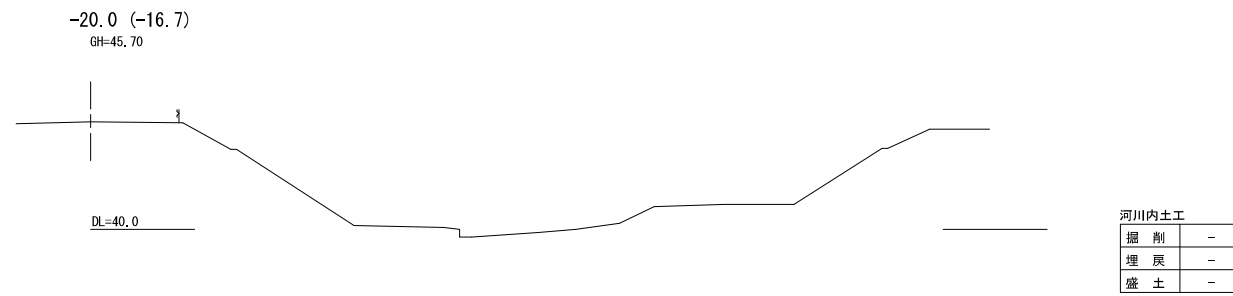
縦断面図



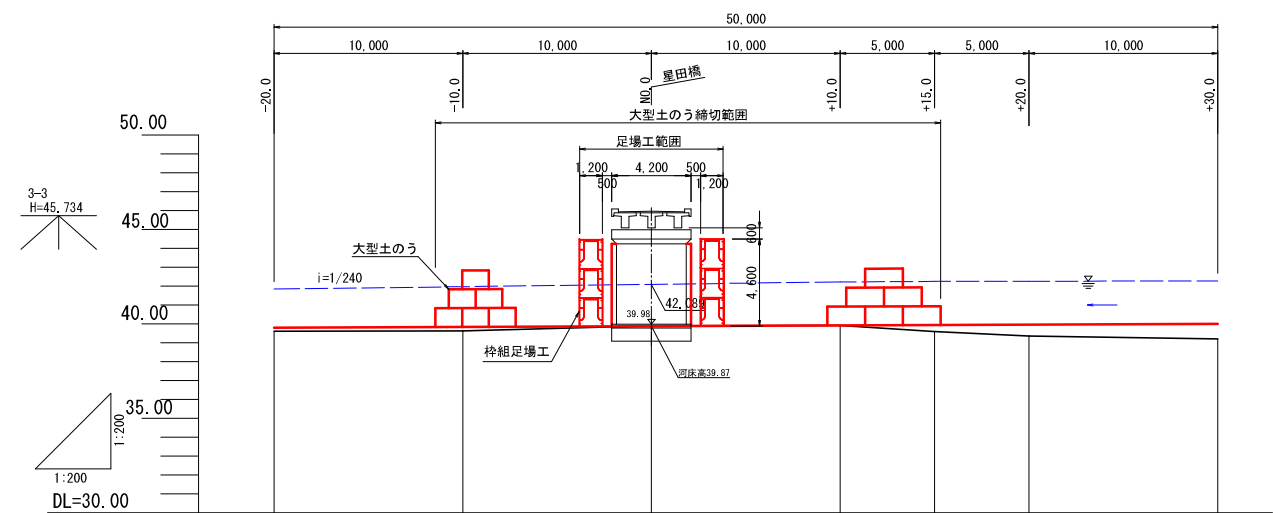
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	一次仮設工工法図 (参考図)		
尺度	1:100	図面番号	19
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 一次仮設工土工図

S=1:200



一次仮設工縦断面図



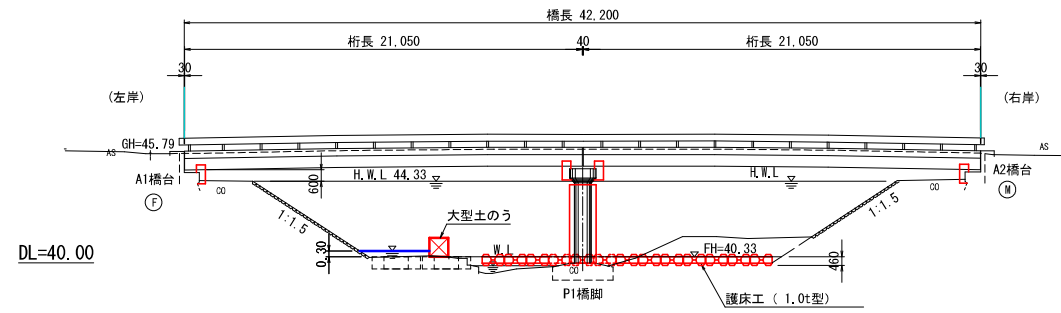
計画河床勾配	i=1/240						
水位	41.502	41.577	42.089	42.213	42.245	42.252	42.271
河床高	39.60	39.62	39.89	39.91	39.89	39.35	39.20
追加距離	0.00	10.00	20.00	30.00	35.00	40.00	50.00
単距離	0.00	10.00	10.00	10.00	5.00	5.00	10.00
測点	-20.0	-10.0	NO.0	+10.0	+15.0	+20.0	+30.0

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	一次仮設工土工図		
尺度	1:200	図面番号	20
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

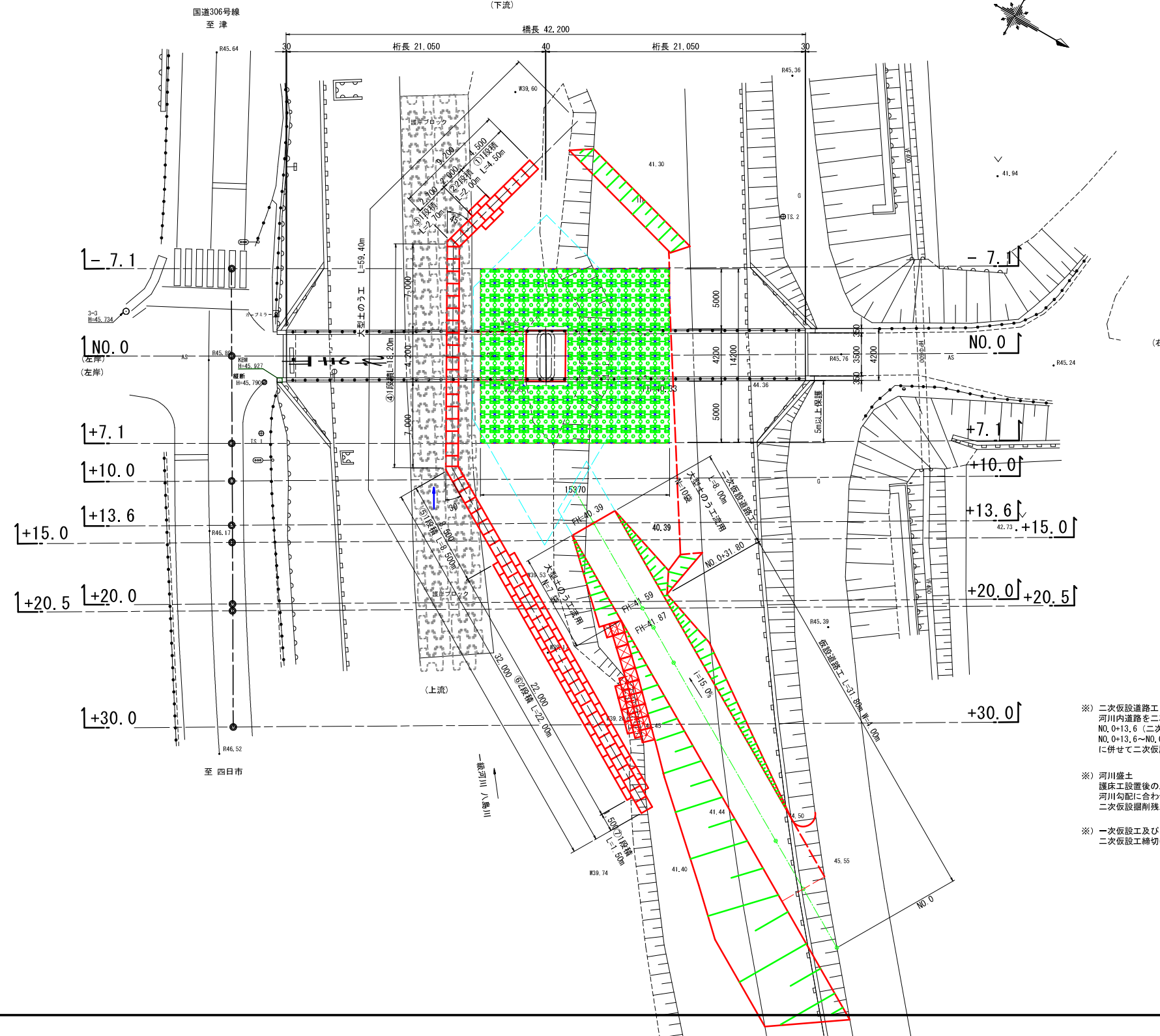


# 二次仮設工一般図 (参考図)

側面図 (NO. 11+75.0)  
1:200



平面図  
1:200

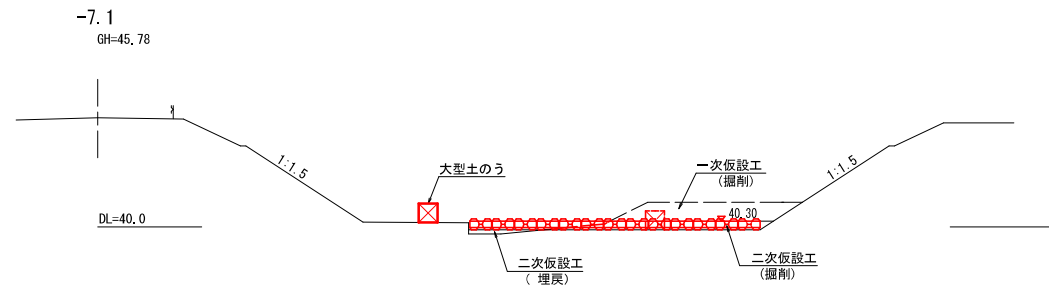


- ※ 二次仮設道路工  
河川内道路を二次仮設でNO.0+10.0 (河川内道路終点) ~ NO.0+13.6 (二次仮設道路終点) まで掘削撤去し、NO.0+13.6~NO.0+20.5 (仮設道路終点) まで仮設道路勾配に併せて二次仮設道路を施工する。
- ※ 河川盛土  
護床工設置後の上流河床が低くなることから、河川勾配に合わせて、NO.0+7.1~NO.0+20.0まで二次仮設掘削残土等で河床を盛土する。
- ※ 一次仮設工及び、仮設道路工の一部で使用済大型土のうは、二次仮設工橋切に流用するものとする。

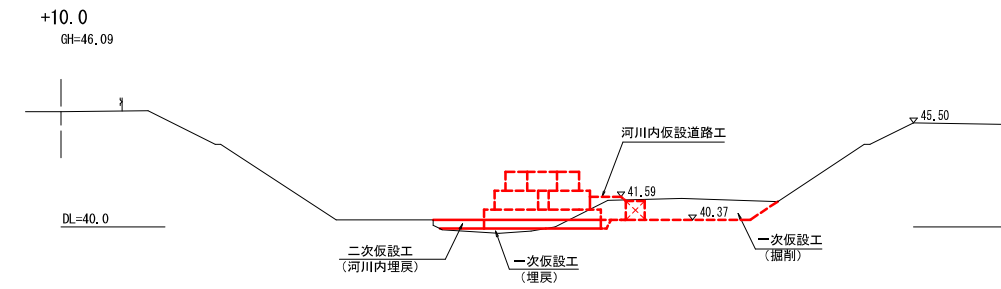
工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	二次仮設工一般図 (参考図)		
尺度	図示	図面番号	21
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		

# 二次仮設工土工図

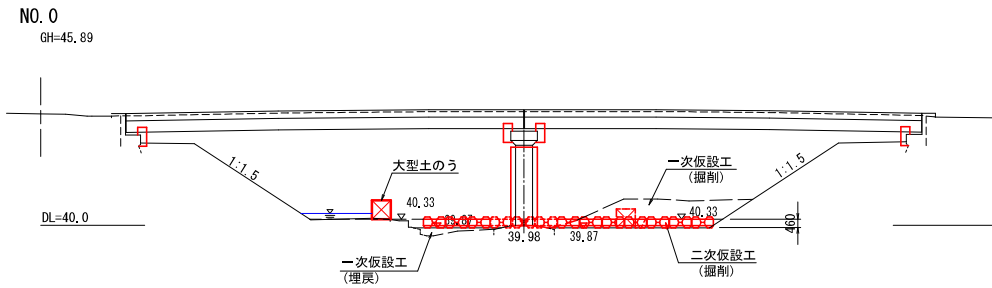
S=1:200



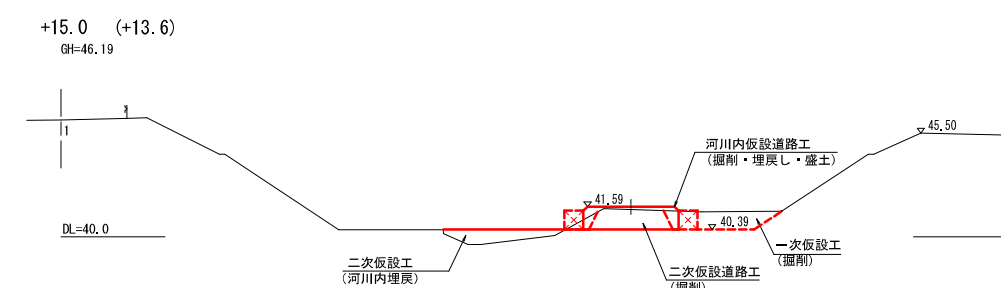
河川内土工	
掘削	2.5
埋戻	0.6
盛土	-



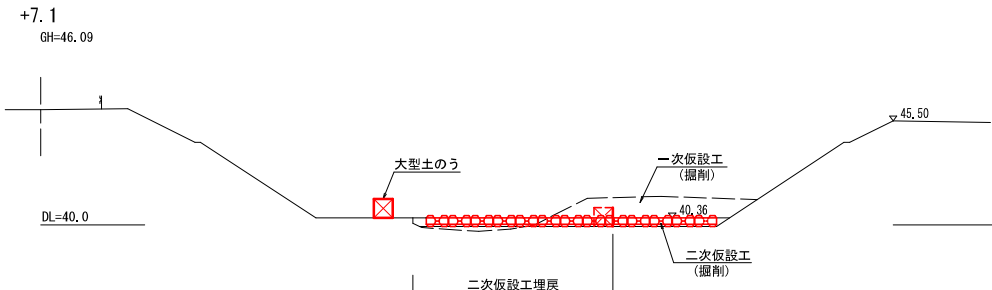
河川内土工	
掘削	-
埋戻	4.1
盛土	-
二次仮設道路土工	
掘削	-
埋戻	-
盛土	-



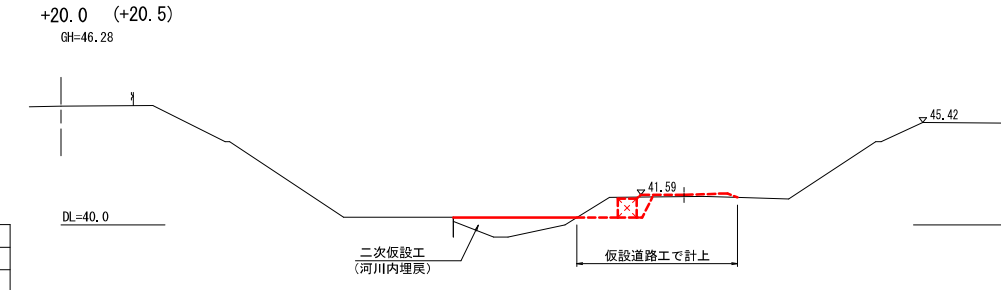
河川内土工	
掘削	2.0
埋戻	-
盛土	-



河川内土工	
掘削	-
埋戻	3.5
盛土	-
二次仮設道路土工	
掘削	4.1
埋戻	-
盛土	-

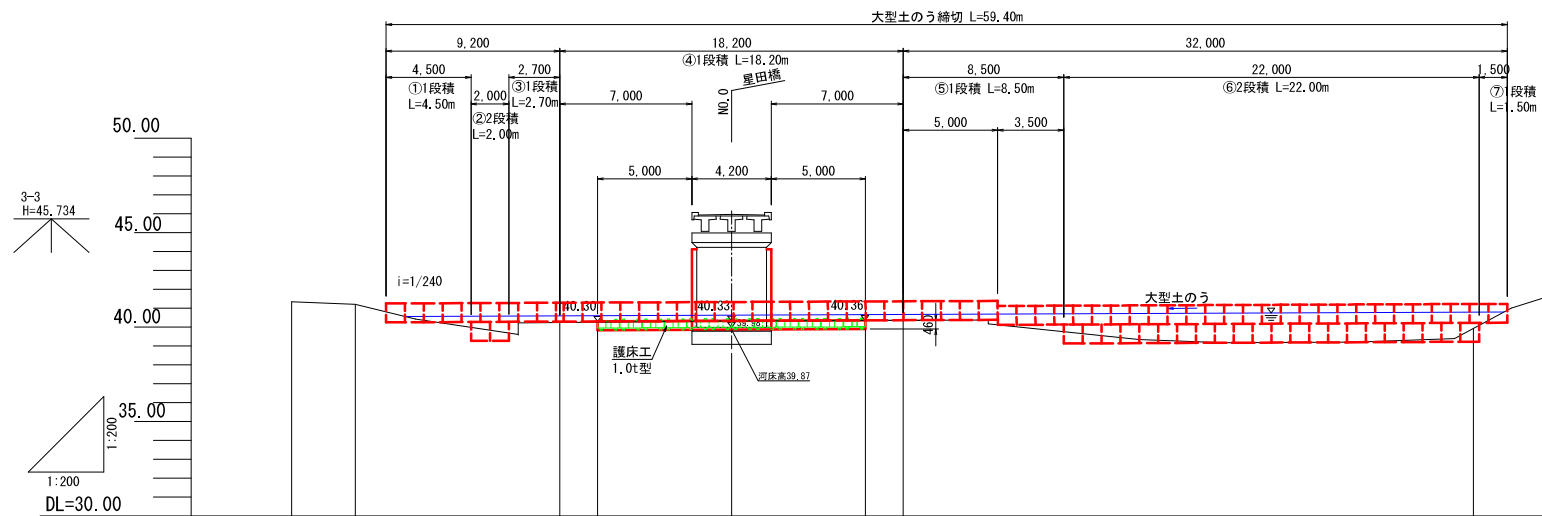


河川内土工	
掘削	2.7
埋戻	-
盛土	-
+7.1 (同所)	
掘削	-
埋戻	0.9
盛土	-



河川内土工	
掘削	-
埋戻	4.4
盛土	-

二次仮設工土工の積展開図



計画河床勾配	i=1/240					
水位	40.533	40.592	40.650	40.630	40.660	40.668
河床高	41.35	40.24	40.26	40.33	40.36	40.36
追加距離	0.00	14.20	16.20	23.30	30.40	32.40
単距離	0.00	14.20	2.00	7.10	7.10	2.00
測点	-23.30	-9.10	-7.10	NO.0	+7.10	+9.10

工事名	星田橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市川崎町地内		
図面名	二次仮設工土工図		
尺度	1:200	図面番号	22
発注機関名	亀山市 産業建設部 土木課		